



国立大学法人

筑波技術大学

産業技術学部



2026



聴覚障害者 ・ 視覚障害者のための大学

Faculty of Industrial Technology

きこえない・きこえにくい人／みえない・みえにくい人のための大学



Faculty of Industrial Technology

ごあいさつ

筑波技術大学 産業技術学部は、日本で唯一のきこえない・きこえにくい方のための学部です。情報バリアをなくすことで、学生が自由にディスカッションし意見を交わしながら、幅広い教養と高い専門性を実践型教育で身につけることができます。

現代は、DX、AIと次々に新しい技術が生まれる変革の時代であり、本学の学生にとってはチャンス時代です。卒業後も自律的に成長できる人財として、産業技術学部の卒業生の活躍が多くの企業から期待されています。

大学では4年間を通して、自分自身の強みを見つけて、より高い目標へと挑戦することができるように、プロジェクト型の授業や実験・実習・演習、国際交流（異文化コミュニケーション）、地域社会とつながった社会貢献活動など、国内外の様々な人と共に交流し、具体的な課題解決をはかる場を多数用意しています。さらに、アルバイトやサークル、様々な活動など、生活においても体験を通して世界を広げることができます。

また、筑波技術大学のあるつくば市は、自然豊かで生活しやすいサイエンスシティで、障害者学生アルバイトを支援する制度があるなど、「だれもが楽しく、暮らしやすいつくば市の実現」を目指している街です。他では得られない体験と挑戦を、ここから始めることができます。

新しい時代と一緒に創っていく仲間をお待ちしております。

国立大学法人 筑波技術大学
産業技術学部 学部長
加藤 伸子

聴覚に障害のある学生が学ぶ

産業技術学部

Contents

2	News	活躍する学生たち
4	Policies	産業技術学部3つのポリシー
6	Profession	産業情報学科 情報科学コース
8		産業情報学科 先端機械工学コース
10		産業情報学科 建築学コース
12		総合デザイン学科 クリエイティブデザイン学コース
14		産業情報学科／総合デザイン学科 支援技術学コース
16	Education	教職課程
18		教養教育系科目
20	Supports	充実した支援サービス ・障害者高等教育研究支援センター／障害者支援研究部【聴覚障害部門】
22	Sociality	国際交流
24		社会貢献
26	Campus Life	課外活動
28		施設・イベント
30		私の学生生活
32	Graduates	就職支援・進学
34		卒業生の進路
35		就職活動について
36		【卒業生インタビュー】私は現在…
38		入学に関するお知らせ
40		オープンキャンパス・授業見学会・交通案内

活躍する学生たち

産業技術学部学生が世界ろう者ユース陸上競技選手権大会で金メダルを獲得

2024年7月14日(日) から7月16日(火) にかけて台湾の台北で開催された「世界ろう者ユース陸上競技選手権大会」に産業技術学部1年生の中村大地さんが出場し、メダルを獲得しました。中村さんは、1500m・800m・4×400mリレーに出場し、それぞれ銅メダル、銅メダル、金メダルと、全ての種目でメダルを獲得する大活躍を見せました。

大会後、これらの活躍を学長に報告するため、表敬訪問を行いました。世界を舞台に戦う心境や、大会での他国の選手との交流についてお話しされた後、学長から「世界大会でメダル獲得の大活躍、本当に立派です」との言葉が掛けられ、今後の意気込みを聞かれると「今回戦った海外の選手と、来年東京で開催されるデフリンピックでの再会を約束してきました。デフリンピックに出場して、決勝へ進み、入賞することが目標です」と、来年日本で開催されるデフリンピックへの意欲を見せていました。

写真は中村さんが学長に活躍を報告している様子です。



01

ZOZOBASEの壁面デザイン

株式会社ZOZOの物流拠点の一つZOZOBASEつくば2に勤務されている本学卒業生伊藤貴文さん(短大5期生) からの声がけにより、科目「産業技術プロジェクトA」の一環でZOZOBASEつくば2休憩所の壁面(縦1840mm横9647mm)の一部のリニューアルを行いました。本学からは総合デザイン学科クリエイティブデザイン学コース2年の麻生直秀さん、櫻井日菜さん、同じく総合デザイン学科アクセシブルデザイン学コース2年の文倉周音さんがデザインに関わり、1年間かけ、社の担当者も交えてミッションやコアバリューを踏まえたデザイン設計を行いました。2025年2月にはZOZOBASE社員と筑波技術大学の学生の有志合わせて20名以上が集まり、2日間のワークショップを通じ、共同で壁面リニューアル制作を行いました。

写真は完成した壁面に披露している文倉さんと櫻井さんです。

02



03



大曽根小学校でユニバーサルデザイン講座を実施しました

2024年10月23日(水)、大穂学園つくば市立大曽根小学校において、6年生が対象のユニバーサルデザイン講座を実施しました。

例年お招きいただいている本講座は、つくば市内の小学校で実施されている「つくばスタイル科」の授業の一環として実施されました。

聴覚障害当事者の立場から、産業技術学部産業情報学科の宮城美月さんと海野彩人さんが聞こえ方やコミュニケーション手段などについて発表しました。宮城さんが手話で、海野さんが音声で同時に発表するスタイルに、生徒さんたちは聞き入っていました。本講座では保健科学部情報システム学科4年の宮武克弥さんが視覚障害当事者の立場から白杖の役割を説明したり、スクリーンリーダーを用いたスマートフォンの使い方を実演したりもしました。生徒さんたちは合成音声の速さに驚いていたようです。

また、それぞれの発表に加えて休み時間の交流や最後の質疑応答なども活発に行われました。同小学校の皆さんに役立つ講座であったことを願います。

写真は本学学生が同校の体育館で発表している様子です。

情報処理学会アクセシビリティ研究会において複数の学生が受賞



04

2024年3月に開催された情報処理学会アクセシビリティ第24回研究会において支援技術学コース4年(発表当時)の藤江匠汰さんの研究「混合音声から抽出した難聴者の発話の聞き取りやすさに関する客観的および主観的な評価による検討」がヤマハ賞を受賞しました。また、同第25回研究会におきまして支援技術学コース4年の船山晃介さんの研究「ARグラスを用いたろう・難聴者向け字幕提示方法の探索的研究：字幕位置の影響に着目して」が学生奨励賞を、2025年3月に開催された同第27回研究会にて情報科学コースの飯塚涼太さんの研究「ソフトウェア開発場面における音声会話を使わない聴覚障害者からの発言」が、同じく学生奨励賞を受賞しました。

技育博にて、本学部の学科やコースを横断したチームが開発したゲームがGMO賞を受賞

2024年12月に開催された技育(GEEK)博にて、総合デザイン学科3年の大石悠介さん、同じく総合デザイン学科3年の松風雛多さん、産業情報学科情報科学コース3年の吉岡瑠佑さん、産業情報学科支援技術学コース3年の松永和真さんが開発したゲーム「デスクワールド」がGMO賞を受賞しました。技育博とは、もの創りに取り組み、エンジニアを目指す学生団体の交流会です。本学部に所属する4人は、学科やコースを横断したチームで制作に取り組み、見事参加した100団体の中から選ばれました。

写真は学園祭時に公開された「デスクワールド」を参加者がプレイしている様子です。



05

06



第11回茨城学生建築展で学生が茨城県建築センター賞と努力賞を受賞

2025年2月20日(木)に開催された茨城県建築士事務所協会主催の「第11回茨城学生建築展」の審査において、産業技術学部産業情報学科建築学コース3年の中川恵太さんの作品「大きな屋根の下で」が茨城県建築センター賞を受賞すると共に、同コース3年の山地輝さんの作品「House Spiral」が努力賞を受賞しました。茨城県内の建築関連科目を有する大学、専門学校等が参加するこの建築展では、学生らしい発想力とデザイン性、そして新しい考えを提案する作品が評価されます。

受賞に際し中川さんは「本計画では、小規模・多機能型の居宅介護施設と学生アパートを一体化し、世代間の共生を促す仕組みを導入しました。これにより、若者のまちへの定着を促進するとともに、高齢者が孤立することなく暮らせる、温かみのある住まいの在り方を提案しています。先生方や仲間の支えがあり、こうして成果を得ることができたことを、心より嬉しく思います。」と語ってくれました。

第20回国際工作機械技術者会議 (IMEC2024) Excellent poster award (優秀賞) を受賞

2024年11月5日(火)～11月10日(日)に東京ビックサイトで行われたThe 20th International Machine Tool Engineers' Conference (IMEC2024) (第20回国際工作機械技術者会議)において、産業情報学科 後藤研究室からポスター発表を行いました。このポスターセッションでは、国内外の大学・研究機関における工作機械関連の先端的研究開発成果をポスター形式にて幅広く発表しています。今回は、53機関(53テーマ)が参加し、工作機械技術の高度化への寄与可能性、研究内容の新規性・獨創性、展示予定のポスター案の表現力、訴求力について審査が行われ、最優秀賞2件、優秀賞5件が選定されました。その結果、本学のポスターがExcellent Poster Award (優秀賞)を受賞しました。受賞題目は、「炭素繊維強化樹脂(CFRP)に対する研削援用放電加工」です。



07

産業技術学部 3つのポリシー

Policy

1

ディプロマ・ポリシー

[卒業認定・学位授与方針]

産業技術学部では、聴覚障害者の高等教育機関として、「情報処理」、「ものづくり」、「デザイン」、「支援技術」を通じて共生社会の構築に参画・貢献できる専門職業人の育成を目的とし、本学における教育により以下の能力を身に付けた者に学位を授与します。

修得すべき学修目標

1. 各専門分野の専門知識と専門技術に加え、それらに応用する能力や論理的思考に基づく問題解決能力
2. 論理的思考力と自己表現力に基づく対人コミュニケーション能力を備え、情報化、国際化の発展にも柔軟に対応できる能力
3. 自らの成果を的確に伝える発信力
4. 障害者支援の技術を社会のニーズに応じて実践できる能力



カリキュラム・ポリシー

[教育課程編成・実施の方針]

産業技術学部では、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）において示した知識と技術を学修するため、以下の方針に沿って教育課程を編成します。また、障害に配慮した教育方法・教育環境により、学生一人ひとりが必要な能力を身に付けられる教育課程を編成します。

教育内容

1. 教養教育系科目の教育においては、学生の多様な知識とものの見方・考え方の涵養と健康づくりを支援するとともに、「生きる力・考える力」の育成をテーマとして、学生が自身の障害の理解に必要な広い視野と教養を身に付けられる教育課程を編成します。
2. 専門教育系科目では、社会で自立できる高度な専門知識と技術を身に付けることを目標に、学科・コースに対応した産業情報学、総合デザイン学の「専門基礎教育科目」および「専門教育科目」を配置します。学科・コース毎の専門性の高い講義内容の理解を深めるための講義と演習、実験を組み合わせた科目構成により、課題を適切に発見し、問題を解決する力を養います。さらに、プレゼンテーション技法など基礎的な表現手段について実践的に学び、研究成果等を効果的に伝えるための手法を身に付け、4年次の特別研究を通じて自らの研究を伝える発信力を養います。
3. 教員免許取得を希望する学生のために教職課程を設置し、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「その他の科目」を配置します。教職課程では、①学修の系統性の重視、②模擬授業、実習および教育的体験の重視、③教育関連法令や学校組織、地域社会における協同に関する学修の促進、などの観点を踏まえ、教育課程を編成します。
4. 初年次から卒業年次までを見通した系統的なキャリア教育科目及びインターンシップ系科目を開設します。
5. グローバルな視点の育成のため、国際交流短期留学制度を活用した「異文化コミュニケーション」およびその関連プログラムを実施します。

教育方法の工夫

1. 学生一人ひとりが必要な能力を身に付けられるよう、個々の障害に配慮した教育環境を整備するとともに、聴覚障害に配慮した情報保障を提供します。
2. 障害学生のための教育方法の開発、学修教材の開発、教育システムの整備を進め、自主学修、能動的学修を推進します。
3. 少人数教育の利点を生かしたアクティブラーニングを実践できるように授業の工夫を行います。
4. 1年次よりポートフォリオを活用し、自主学修ができる力、キャリア発達のためのサポートを実施します。

学修成果の評価

学修成果の評価は、授業科目ごとに定めたシラバスにおいて授業内容と方法、達成目標と評価方法を明確に提示するとともに、到達目標の達成度に基づいて厳格に行います。

アドミッション・ポリシー

[入学者受入れの方針]

産業技術学部は工学系とデザイン系の専門分野を持つ学部であり、次のような人を求めています。

1. 大学での学修に必要な基礎学力を有していると共に、支援技術等の新しい分野に挑戦する意欲を持っている人
2. 工学的な事柄に興味を持ち、積極的に学修に取り組む意欲を持っている人、またはデザインに関して基礎的な表現力や発想力、感性、創造性を備えた人
3. 技術者またはデザイナーになりたいという目的意識を持っている人
4. 将来に対する目標を持ち、共生社会の構築に参画貢献しようとする意志を持っている人

入学者選抜方針

産業技術学部では、以下の入試による複数の受験機会を提供します。

- 一般選抜
- 学校推薦型選抜
- 社会人選抜
- 総合型選抜

産業技術学部の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、面接、小論文、調査書、実技検査、適性検査、プレゼンテーション、総合問題など、多面的な評価による入学者選抜を実施します。

入学までに身に付けて欲しいこと

- 各分野の学修に必要な高等学校課程の基礎学力
- 他の人々との関わり合いの中でのコミュニケーション能力

情報科学 コース

夢やアイデアをカタチにして、
未来を築く技術力



Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

情報科学コースでは、自ら学ぶ目的を常に意識できるようにするため各年次に専門教育科目を配置し、3つの分野（データサイエンス、ソフトウェア、ハードウェア）それぞれに重点を置いた履修モデルを提案します。それらを基に柔軟なカリキュラムを編成し、幅広い学修を提供します。

■ 教育内容：

1. 情報科学全般を網羅的に学びながら、データサイエンス、ソフトウェア、ハードウェアをベースにした演習・実験を通し、4年間の学修の全体像が形成できるようにします。
2. 情報科学全般で必要と思われる基礎的な内容の講義・実験等を必修科目とし、①ソフトウェアモデルで必要とされるソフトウェア工学やプログラミングに関する講義・演習等、②ハードウェアモデルで必要とされる電子回路に関する講義・実験等、③データサイエンスモデルで必要とされるデータベース設計や情報検索に関する講義・演習等を選択科目として、専門知識修得に必要な基礎を学修します。
3. 自らの目指す将来像を元に各モデルの講義・演習・実験を通してより具体的な知識、技術の獲得を目指します。また、セミナーやプロジェクト形式の授業やキャリア教育から学生自らが積極的に問題を解決できる応用力を養います。



Students Voice

学生の声

情報科学コース2年

伊藤 壮空さん

北海道高等専門学校 出身

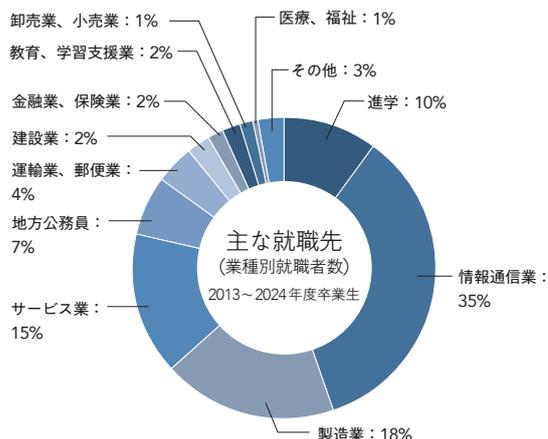
私が本学を志望した理由は、情報保障が優れており、かつ就職指導、支援に重点が置かれており、就職率がほぼ100%で他の大学より就職率が高い点に魅力を感じたからです。

現在、教員のご紹介で、音声認識アプリを開発した株式会社アインで聴覚障害者の当事者として、働かせていただいております。また、情報系に関心がある人同士が集まるサークルにも参加しており、教員と気軽に雑談もできたり、先輩の研究の手伝いをしたりなど、聴覚障害者の課題でもある人間関係の構築もスムーズに取り組める環境にあります。

このように、本学では耳が不自由だというハンデを乗り越えて、自分が興味のあることにとことん取り組めるのが最大の魅力点です。

Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



B

- A. タブレット端末用UIプログラミング【情報科学セミナーA】
- B. C言語のポインタの使い方についての講義
【プログラミング演習1】
- C. グループでのWebアプリ開発【データベース設計論・演習】
- D. マイコンを用いたドローン制御実験
【産業情報基礎・演習A・B】



C

D

Weekly Schedule

時間割

[1年]

1学期

	月	火	水	木	金
1		日本語表現法A	数学1		情報リテラシー
2		心理学		歴史学	英語A
3		英語A		解析学1	健康・スポーツA
4		産業情報基礎・演習A	修学基礎	統計確率A	
5		産業情報基礎・演習A	修学基礎	情報数理A	
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1		日本語表現法B	数学2	社会学	コンピュータシステム概論
2		情報数理B		法律学	英語B
3		日本語手話言語基礎	英語B	解析学2	健康・スポーツB
4		産業情報基礎・演習B		情報保障概論	
5		産業情報基礎・演習B		統計確率B	
6					

[2年]

1学期

	月	火	水	木	金
1		情報科学概論	英語C	ろう・難聴者の社会参加	電磁気学・演習
2		アメリカ手話言語1	英語C	健康・スポーツC	電磁気学・演習
3			論理回路設計論・応用演習		線形代数学1
4		情報科学研究プロジェクトA	論理回路設計論・応用演習		電気回路学・演習1
5					プログラミング演習1
6					プログラミング演習1

2学期

	月	火	水	木	金
1			プログラミング演習2		健康・スポーツD
2		情報保障技術学・演習	プログラミング演習2	ソフトウェア工学・演習1	
3		アルゴリズムとデータ構造	情報保障技術学・演習	ソフトウェア工学・演習1	
4				データベース論・演習	フィジカルコンピューティング論・演習
5		統計・確率論D		データベース論・演習	フィジカルコンピューティング論・演習
6					

※授業名は履修時の名称

先端機械工学 コース

“夢”から“ものづくり”へ導く
科学的な発想力



Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

機械工学はあらゆる産業分野で必要とされる基盤的学問分野であり、機械技術者には確かな専門知識とともに各技術分野の特性に応じた柔軟な応用力が要求されます。先端機械工学コースでは、最先端の技術をリードする工学領域として、機械工学の基礎に根ざした学問の系統性を尊重した4力学（材料、振動、熱、流体）の修得、また、機械工学に関する広範な専門知識の修得、さらに現代のものづくりに不可欠なコンピュータ支援技術（CAD/CAM/CAE/CAT）の修得を基軸として学びます。

■ 教育内容：

1. 専門知識の修得と実践：機械要素、機械加工法などの専門知識の修得とともに、専門知識に基づいた機械工学実験を実践します。また、実社会で用いられている機械加工を体験することにより専門知識と実際のものづくりとの繋がりについて理解を深めます。さらにグローバル化が進む現代社会に適應できるように技術英語を学修します。
2. 基盤となる工学理論の修得：機械工学を学ぶために必要な力学などの基礎的知識を修得するとともに、普遍的に必要とされる工学理論である4力学（材料、振動、熱、流体）を学修します。さらに、現代社会の急速な変化に対応できるように、プログラミング、計測・制御工学などを学修します。
3. 機械設計技術の修得：機械設計技術者のコミュニケーションツールである設計・製図について、基礎科目として図学、機械設計製図演習などを通じて順次学修します。そのうえで、現代のものづくりの基盤となる、コンピュータ支援設計（CAD）、コンピュータ支援製造（CAM）およびコンピュータ支援解析（CAE）、検査（CAT）技術を活用した応用設計ならびに理論についても実践的に学修します。



Students Voice

学生の声

先端機械工学コース3年

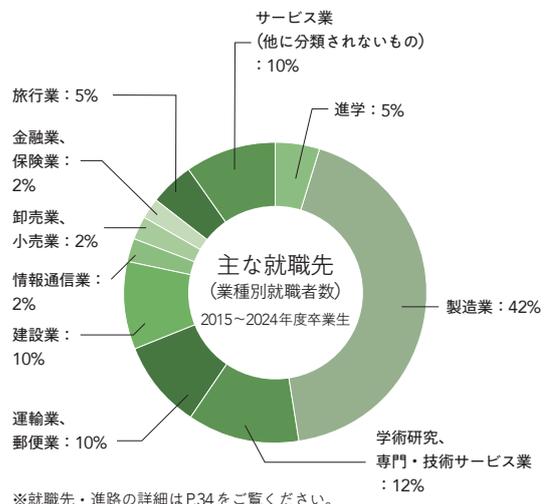
秋田 聖人さん

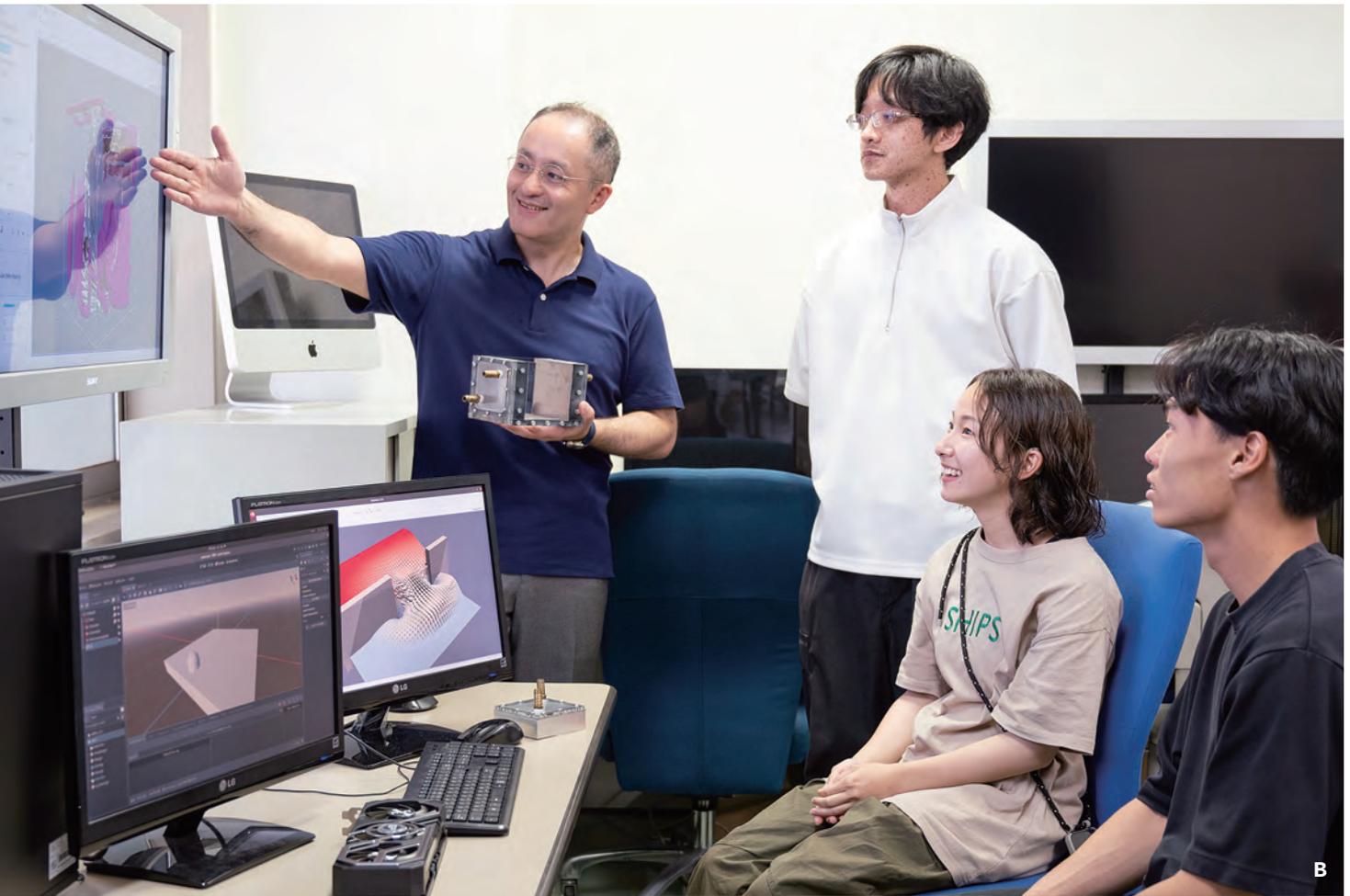
京都府立山城高等学校 出身

私は機械工学について深く学びたいと思い、先端機械工学コースに進みました。機械工学では、まず数学と力学の基礎を学んだ上で、それを応用した理論やコンピュータ支援技術（CAD/CAM/CAE/CAT）などの専門的な内容を学びます。本学の講義は少人数かつ手話や音声認識、文字通訳など情報保障が充実している為、学びやすい環境が整っています。また、実習や実験などで他の学生と協力して進める場面も多く、分からないところを教え合ったり、レポート作成を一緒に進めたりして学生同士で学びを深める機会も多いです。卒業後の進路としては、機械系の専門職に就職するか、大学院で機械工学に関する研究を行うかのどちらかを考えています。

Graduates Data

就職先・進路





- A. 3D形状測定機による微細放電加工の観察 [先端機械工学特別研究1・2]
- B. 流れのコンピュータシミュレーションの説明 [流れ学]
- C. SEMによるCFRPの観察(写真左)と硬さ試験機による硬さ測定(写真右) [機械工学実験A]
- D. 学生が製作した小型放電加工機による加工実験 [先端機械工学特別研究]



Weekly Schedule

時間割

[2年]

1学期

	月	火	水	木	金
1	CAD基礎演習	英語C	ろう・難聴者の社会参加		
2		英語C		聴覚障害教育と心理	健康・スポーツC
3	力学1			機械加工法	
4	図学基礎論	機械設計製図演習1		機械加工法実習A	機械設計製図演習1
5				機械加工法実習A	機械設計製図演習1
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1			力学2	基礎工学実験	健康・スポーツD
2			力学演習	基礎工学実験	
3				機械加工法実習B	
4	機械設計製図演習2			機械加工法実習B	
5	機械設計製図演習2				
6					

[3年]

1学期

	月	火	水	木	金
1		CAD/CAM演習1	基礎動力学1		流れ学1
2		CAD/CAM演習1	CAD/CAM/CAE概説		プログラミング基礎演習
3	熱工学1	機械要素	機械工学特別講義	材料力学1	プログラミング基礎演習
4	金属材料学				機械工学実験A
5					機械工学実験A
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1		福祉機器設計学	流れ学2		
2	就職活動支援				
3	基礎動力学2	CAD/CAM演習2		材料力学2	熱工学2
4		CAD/CAM演習2		技術英語1	機械工学実験B
5					機械工学実験B
6					

※授業名は履修時の名称

建築学 コース

やさしい視点と確かな技術で
建築・まちをつくる



Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

建築学コースでは、4領域（建築意匠系・建築計画系・構造工学系・環境工学系）を基軸とした科目群を系統的かつ横断的に履修することができるカリキュラムとなっています。修得した建築学の知識と技術を通して共生社会に参画・貢献できる専門職業人を養成します。また、所定の科目を履修することにより、一級建築士または二級・木造建築士の受験資格を得ることができます。

■教育内容：

1. 建築や都市空間などの計画理論とデザイン論から構成される建築計画系科目により、住宅から各種施設における幅広い建築物について適切な空間構成法を学修します。また、人にやさしい建築空間づくりの基礎知識として人間工学等の科目を通して身体や生活行動と環境との関係について学修するほか、建築経済や住宅政策、建築法規など総合的な学びを通じて、居住環境への理解力を養います。
2. 構造工学系科目では、地震や強風時の建物の安全性を評価できるよう、力学的な原理やこの原理に基づいた計算方法を学修します。さらに、コンピュータを活用した安全評価に関する解析方法(CAE)を学修します。
3. 環境工学系科目では、音・光・熱・空気などの環境要素から生活空間の快適性を評価するための理論や計算方法を学修します。また、これらの知識をより深く理解する為、建築実験や演習科目によるアクティブラーニングを行い、さらに、コンピュータを活用した環境評価に関する解析方法(CAE)を学修します。
4. 建築製図系科目では、年次進行に従い住宅から多機能な社会施設に至る多様な建築の設計課題に取り組み、計画理論や構造工学および環境工学の知識を反映させた建築のデザインと構成法を学修します。また、建築製図のみならず、建築模型やモデリングソフトによる3D表現など多彩な建築表現の理論と技術を学修します。



Students Voice

学生の声

建築学コース3年

中川 恵太さん

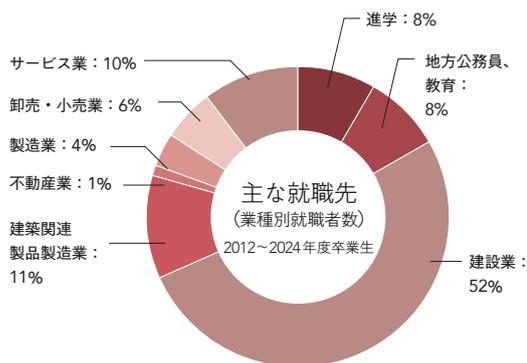
東京都立中央ろう学校 出身

私が産業情報学科 建築学コースを志望した理由は2つあります。1つ目は、幼い頃からろう学校に通い、手話を使用して教えてくれる環境に親しんできたため、そのような環境が整っていると知り、自分に合った学びができると感じたからです。2つ目は、建築に興味があり、建築について体系的に学べるこのコースを希望したことです。

実際にコースに入學してみて、少人数で先生方との距離が近く、勉強や進路について気軽に相談できる環境のありがたさを実感しています。また、建築はチームで進めることが多い分野で、このコースでは友人と意見を交換しながら協力して課題に取り組み機会が多く、チームワークを磨ける点が魅力です。さらに、学外プロジェクトでは企業と共にユニバーサルデザインについて検証する機会が多く、知見を広げるだけでなく、自分の意見を伝える力も養えました。将来は建築業界で働き、こうした経験を活かして社会に貢献したいと考えています。

Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



- A. 空調換気システムのダクト設備説明の様子【建築設備1】
- B. 戸建て住宅作品講評会の様子【住宅設計演習】
- C. アーチとヴォールト構造の力学的特徴の解説【一般構造・構法】
- D. 【地域施設設計演習】の授業



Weekly Schedule

時間割

[2年]

1学期

	月	火	水	木	金
1		英語C	ろう・難聴者の社会参加	一般構造・構法	
2		英語C	住居・住生活論	聴覚障害教育と心理	健康・スポーツC
3					建築基礎製図
4	建築計画基礎			環境工学基礎	建築基礎製図
5					建築基礎製図
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1			建築図学		
2			都市・地域計画論	建築デザイン論	
3		まこえない人の生活文化		住宅設計演習	
4	建築構造基礎	建築人間工学論・演習	熱・空気環境工学1	住宅設計演習	建築CAD演習
5		建築人間工学論・演習		住宅設計演習	建築CAD演習
6					

[3年]

1学期

	月	火	水	木	金
1	建築材料学				
2	建築法規	建築設備1	地域施設設計画論	建築史	
3	構造力学1	地域住環境設計演習		音・光環境工学1	
4	福祉住環境デザイン論・演習	地域住環境設計演習			建築プレゼンテーション演習A
5	福祉住環境デザイン論・演習	地域住環境設計演習			建築プレゼンテーション演習A
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1					
2		医療福祉施設設計画論		造園計画論	設計論
3	建築生産			地域施設設計演習A	
4				地域施設設計演習A	
5				地域施設設計演習A	
6					

※授業名は履修時の名称

クリエイティブ デザイン学 コース

デザイン思考で
美と機能をソウゾウする



Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

クリエイティブデザイン学コースでは、3つの分野（情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン）それぞれに重点を置いた履修モデルを提案し、それらを基に柔軟なカリキュラムを提供します。

■教育内容：

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考を身に付けるため、1年次ではデザインの基礎を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では各領域の専門内容に特化した概論・演習を通じて、デザインの発散的思考方法と収束的思考方法を学修します。4年間を通じてデザインプロセス、美的感覚、コラボレーション、オリジナリティに関わる実践的な創造活動を行います。
2. デザインの最適解を導き出そうとする創造性を身に付けるため、1年次ではデザインの諸分野に関する概論や基礎演習を通じて3つの履修モデルのデザイン分野を体験し、デザインの素養を幅広く身に付けます。2～4年次ではそれぞれの履修モデルに分かれ、テーマに応じた演習科目等を学修し、問題を発見し解決するための知識と技術を身に付けます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けるため、1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身に付けます。最終学年では、デザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けます。

Students Voice

学生の声

クリエイティブデザイン学コース 3年

藤田 桃華さん

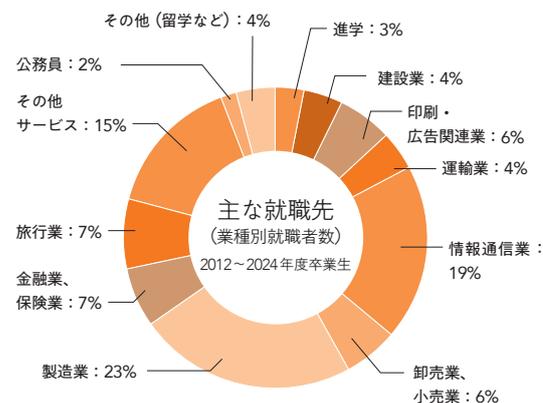
北海道高等雙学校 出身

私が本学を志望した理由は、高校の先輩が入学していて安心感があるということもありますが、情報保障が充実していること、小さい頃から絵を描くのが好きで、本格的にデザインの勉強をしてみたいと思ったことが主な理由です。

本学には多くの聴覚障害学生がいます。私自身はクリエイティブデザインについて学んでいますが、支援技術(アクセシブルデザイン)を学ぶ学生も身近に多くいます。大学は高校までとは違い、自由な時間が増える一方、多くを自分で決める必要があります。様々な考えを持つ人と交流を通じ、デザインの勉強はもちろん、サークル活動や寄宿舎での生活を通じて段々と自身で判断、決定できるようになったことを実感しています。

Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



Profession



B

- A. 透明水彩画による写実的描写【絵画基礎技法】
- B. 配色法に関する講義【色彩論】
- C. 3Dプリントによるモデル制作【プロダクトデザイン論・演習A】
- D. 情報の可視化手法【情報デザイン論】



C

Weekly Schedule

時間割

[2年]

1学期

	月	火	水	木	金
1	ユニバーサルデザイン論	英語C	ろう・難聴者の社会参加		健康・スポーツC
2			プロダクトデザイン論	聴覚障害教育と心理	情報デザイン論
3				日本語社会とコミュニケーション	グラフィックデザイン論
4	平面造形論・演習		英語C	立体造形論・演習	タイポグラフィ論・演習
5	平面造形論・演習			立体造形論・演習	タイポグラフィ論・演習
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1		日本語テクニカルライティング	情報デザイン基礎論・演習		健康・スポーツD
2			情報デザイン基礎論・演習		グラフィックデザイン基礎論・演習
3		きこえない人の生活文化			グラフィックデザイン基礎論・演習
4	プロダクトデザイン基礎論・演習	クリエイティブプログラミング演習	CG演習		エディトリアルデザイン論・演習
5	プロダクトデザイン基礎論・演習	クリエイティブプログラミング演習	CG演習	材料学	エディトリアルデザイン論・演習
6					

[3年]

1学期

	月	火	水	木	金
1	マーケティング論・演習	情報デザイン論・演習		ヒューマンインタフェース論	工芸論
2	マーケティング論・演習	情報デザイン論・演習			
3				人間工学	
4					Webデザイン論・演習
5		芸術学概論			Webデザイン論・演習
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1					
2	就職活動支援		アクセシブルデザイン演習A		グラフィックデザイン論・演習B
3		グラフィックデザイン論・演習C			グラフィックデザイン論・演習B
4		グラフィックデザイン論・演習C			
5					
6					

※授業名は履修時の名称

支援技術学 コース

専門領域に新たに加わった
支援技術学

Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

[情報保障工学／福祉機器工学／福祉住環境学]

支援技術学コースでは、3つの分野（情報保障工学、福祉機器工学、福祉住環境学）の領域を編成し、それらを基に柔軟でかつ横断的なカリキュラムを提供します。

■教育内容：

1. 情報科学に関する科目および人の支援技術に関する科目を通して、情報保障を科学的に分析し評価する方法ならびに新たな情報保障システムを生み出すための技術について学修します。
2. 幅広い教育系科目を修得するとともに、ものづくりに必要な機械工学の基本的な専門知識や機械設計技術を順次身に付け、それらを実践する力を養います。さらに、福祉機器工学の知識を身に付けることにより、現代における様々な社会環境と人間との調和に貢献できる福祉機器設計について学修し、高度情報化社会に貢献できる新たな価値を創造できる応用力を養います。
3. 住空間や都市空間における障害者や高齢者等などの行動特性について学修できる建築計画系科目と福祉論などの支援技術学系共通科目とにより、人にやさしい環境のデザイン理論を学びます。また、建築製図系の科目により、それらの建築的表現法を学修します。これらの学修を通し、人間のQoLの向上に寄与するまち・建築・空間を提案できる力を有する人材を養成します。また、所定の科目を履修することにより、二級・木造建築士の受験資格を得ることができます（二級・木造建築士取得後は、将来的に一級建築士にステップアップできます）。
4. 障害支援技術に関する共通科目および領域横断科目を設け、福祉や支援に関わる基礎的な内容を広く学修します。

[アクセシブルデザイン学]

アクセシブルデザイン学コースでは、3つの分野（情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン）のデザイン系科目と支援技術に関わる学部横断科目で編成したカリキュラムを提供します。

■教育内容：

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考を身に付けるため、1年次ではデザインの基礎を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザインの専門内容に加え、アクセシブルデザイン学に特化した論・演習を通じて、支援技術に関わるデザインを学修します。4年間を通じてデザインプロセス、美的感覚、コラボレーション、オリジナリティに関わる実践的な創造活動を行います。
2. アクセシブルデザインの最適解を導き出そうとする創造性を身に付けるため、障害支援技術に関する共通科目および福祉に関わる基礎的な内容を広く学修します。さらに、人間工学、ヒューマンインタフェースデザイン、アクセシブルデザイン等に関わる専門科目を学修し、問題を発見し解決するための知識と技術を身に付けます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けるため、1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身に付けます。最終学年では、アクセシブルデザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けます。



Students Voice

学生の声

支援技術学コース 情報保障工学領域3年

高橋 理子さん

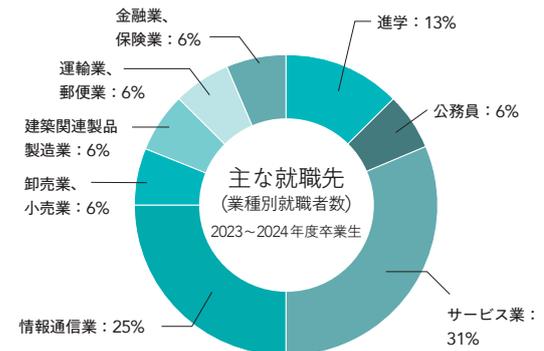
東京都立中央ろう学校 出身

私が支援技術学コース情報保障工学領域を志望した理由は2つあります。1つ目は、人を支援する仕事に就きたいと考えたからです。直接人と接する仕事がしたく、コミュニケーションが得意なこともあり、この分野を選びました。2つ目は、聴者とう者の間で円滑なコミュニケーションをサポートしたいと考えたからです。自分の経験を活かして、双方をつなぐ技術の開発に貢献したいと思っています。

本学には短期留学研修があり、アメリカのギャロデット大学に10日間行くことになりました。ASLでのコミュニケーションが必須ですが、ASL講座の開催や海外に行くにあたってのサポートも充実しており事前準備から環境がやりやすいと感じています。興味がある方はぜひお勧めします。

Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



B

- A. 測定機器を活用した補聴器の性能評価【情報保障システム工学・演習】
- B. 盲ろう講師との直接対話による障害理解【支援技術学演習B】
- C. 3Dプリンタによる義手の製作と組立て【支援技術学演習A】
- D. 合理的配慮に関するディスカッション【情報保障技術と活用】



C

D

Weekly Schedule

時間割

[2年]

1学期

	月	火	水	木	金
1	情報科学概論		ろう・難聴者の社会参加		
2	ドイツ語1	英語C	健康・スポーツC	聴覚障害教育と心理	日本語テクニカルライティング
3		支援技術学論	英語C	日本語社会とコミュニケーション	線形代数学1
4		支援技術学演習A		プログラミング演習1	電気回路学・演習1
5				プログラミング演習1	電気回路学・演習1
6				特別支援教育	

2学期

	月	火	水	木	金
1	聴覚科学		プログラミング演習2		
2		情報保障技術学・演習	プログラミング演習2	ソフトウェア工学・演習1	
3	アルゴリズムとデータ構造	情報保障技術学・演習		ソフトウェア工学・演習1	
4				データベース論・演習	
5		統計・確率論D		データベース論・演習	
6					

[3年]

1学期

	月	火	水	木	金
1	ユニバーサルデザイン論		ネットワーク・セキュリティ論・演習	ヒューマンインタフェース論	情報保障システム工学・演習
2			ネットワーク・セキュリティ論・演習	自分史	情報保障システム工学・演習
3					
4			情報保障工学特別講義	情報保障技術と活用	
5			情報保障工学特別講義	支援技術学演習B	
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1	感性科学			障害者スポーツ	
2	就職活動支援			画像工学・演習	プログラミング応用演習
3	管理システム論			画像工学・演習	プログラミング応用演習
4	管理システム論	情報システムセキュリティ演習			情報保障評価法・演習
5		情報システムセキュリティ演習			情報保障評価法・演習
6					

※授業名は履修時の名称

Education

教職課程

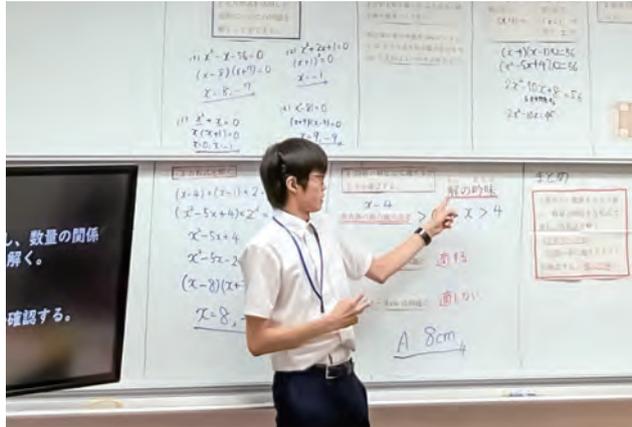
障害者高等教育研究支援センター
障害者基礎教育研究部 [教職課程部門]

産業技術学部では、所定の単位を修めることにより教員免許を取得することができます。教職課程の授業は1年生から始まり、原則4年生時に2～3週間(取得免許状によって異なる)の教育実習を行います。

本学で一緒に教員を目指している視覚障害学生との交流、特別支援学校等との交流やボランティア活動、特別支援学校や社会福祉施設での介護等体験、現職教員の講演会等、体験や交流を盛り込んだ活動を4年間を通して用意しています。また、卒業後さらに教育について専門的に学ぶため、他大学の教育関係学部、大学院等への進学を目指す学生も近年増加しています。教職課程は、通常の卒業単位に加えて、さらに多くの授業を取り、教育実習等も行う必要があります。しかし、教育というのは子どもたちの成長を支え、多くの経験や喜びを共にすることができる素晴らしいものです。その喜びと、教師としての責任を考えながら、教職への道を歩んでください。



学内の授業ではグループワーク等も行います。



教育実習風景。実習校の指導の下、指導案や教材も作成します。

取得可能免許一覧

学科(コース)	免許状の種類及び教科
産業情報学科 情報科学コース 支援技術学コース	中学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(情報)
産業情報学科 先端機械工学コース 建築学コース 支援技術学コース	中学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(工業)
総合デザイン学科 クリエイティブデザイン学コース 支援技術学(アクセシブルデザイン学)コース	中学校教諭一種(美術) 高等学校教諭一種(美術) 高等学校教諭一種(工芸)

※特別支援学校教員免許は取得できません。ただし、卒業後他大学や大学院、特別支援教育専攻科などに進学し、特別支援学校教員免許や小学校教員免許などを取ることは可能です。

4年間の流れ

学年	時期	内容	教職課程科目
1年生	4月	教職課程ガイダンス 教職課程授業開始	教養教育系科目 専門(教科)教育科目 教職課程科目
	4月～7月 6月～2月頃	教育実習先内諾活動 介護等体験 (特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間)	
3年生	4月	教育実習ガイダンス	
4年生	4月	教育実習事前指導	
	7月	公立学校教員採用試験(私立学校は随時)	
	6月～10月頃	教育実習(2週間もしくは3週間)	
	11月 3月	教員免許状一括申請 学位記授与式・教員免許状交付	

時間割例 数学の免許取得を目指す1年生の2学期時間割例です。

	月	火	水	木	金
1時限		日本語表現法B	線形代数学1	教育心理学	コンピュータシステム概論
2時限	アメリカ手話言語2		英語B	法律学	
3時限	日本手話言語基礎	英語B			健康・スポーツB
4時限		産業情報基礎・演習B		企業・社会への参加とコミュニケーション	情報数理B
5時限		産業情報基礎・演習B		統計確率B	解析学2
6時限(教職科目のみ)					
集中(休日、長期休暇等)	日本国憲法				

※ 教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等、免許法第66条の6に定める科目

Students Voice

学生の声

鈴木裕也さん

産業情報学科
情報科学専攻 2021年度卒業



教員になるという意思を持って教職課程を履修しました。学年が上がるごとに教職に関する科目が増え、教育に関する知識が増えるごとに教員になりたいという気持ちも次第に高まりました。教職課程で数学と情報の教員免許取得を目指しながら、卒業のための学習をするのはかなり忙しいですが、数学をより知ろう、教育についてより知ろうという知的探求心をくすぐられる機会は非常に多いです。教職に関する講義は多く、出前講座や交流会の企画もあるため、教員になるための環境は充実していると感じています。この学部案内を読んでいる皆さんへ、教員になりたいという強い志を持つ方はぜひ教職課程を履修してみてください。



学内における模擬授業



Message

メッセージ

本学部の卒業生が 教員として活躍

特別支援学校高等部で数学を教えています。



長谷川ちか子さん

神奈川県立平塚ろう学校
【産業情報学科情報科学専攻 2015年度卒業】

私は現在、神奈川県立平塚ろう学校の教諭として、高等部で数学と自立活動を担当しています。授業だけでなく、毎日の何気ない会話を大切にし、生徒がより楽しく学校生活を送れるように心がけています。教えることの難しさを感じるとともに、どうやったら伝わるかな？と考えたり、同僚と相談しながら業務を進めたりして、日々学んでいます。

筑波技術大学受験のきっかけは、「教員免許を取得すること」と「聴覚障害である自分を受け入れること」でした。高校まで健聴の学校に通っていましたが、聴覚障害のことについてあまり考えずにいました。自分のことや聴覚障害のことについてしっかり知りたくなったときに、筑波技術大学があることを知りました。また、将来は自分の経験を活かした職業に就きたいと考えた時に、児童生徒と関わることのできる教員になりたいと思いました。大学に、教職課程があることも魅力的でした。

大学入学後は、知らないことも多く、驚きの毎日でしたが、初めて手話を覚え、多くの意見交換ができました。親身になってくれる先生や同級生に恵まれ、楽しい4年間を過ごすことができました。

大学卒業後は、特別支援教育についてさらに学びたいと思い、進学しました。筑波技術大学での学びや色々な人との関わりで得たことは、今でも自分の中にあり、活かされていると感じています。

在学中は多くの人と交流し、そのつながりを大切にしてください。自分の経験や考えをたくさん発信して欲しいと思います。貴重な4年間に充実したものにしていってください。応援しています。

【卒業生の進路(教職関係)】

就職

特別支援学校教員 [聴覚障害] (常勤、非常勤) / 職員 (実習助手) / 公立高等学校教員 (常勤、非常勤)

進学

上越教育大学大学院 / 兵庫教育大学大学院 / 愛媛大学大学院 / 大阪教育大学特別支援教育専攻科等

Education

教養教育系科目 障害者高等教育研究支援センター 障害者基礎教育研究部 [聴覚障害教育実践部門]

障害者基礎教育研究部では「人間性」の土台となる幅広い教養や、専門分野を学ぶための基礎学力を身につける科目を中心に担当しています。多彩な学問を通じて、広い視野と総合的な判断力、豊かな人間性を涵養し、社会に貢献する人材の育成を行っています。授業担当教員の専門領域やキャリア、バックグラウンドも多種多様。ぜひ自分の興味のある授業を履修してみてください。

学
び
の
場

で
き
る

分
か
る

伝
わ
る



講義と実技で自分の身体を理解する「健康・スポーツ」の授業風景

築く教育
人生の基礎を

幅広い教養を培う

専門職業人になるためにも、豊かな人生を送るためにも、教養教育は欠かせません。国際化に必要な英語も視覚教材・手話・口話・板書等を用いた授業で深く学べます。

コミュニケーション能力を高める

言語力をさらにのばすための[日本語表現法A・B][日本手話言語基礎]が設置されているほか、自分の聴覚障害を理解し、今後のコミュニケーション方法を考える科目が充実しています。

障害を理解する

本学では障害に関して学ぶ科目が多数設置されています。障害を正しく理解することによって、自己を確立し、社会との関わり方が考えられるようになります。

すべては、学生のために

学習面での相談はもとより、生活面での相談も、クラス担当・副担当およびアカデミック・アドバイザー(AA)教員が受け付けます。適宜、保護者と連携して、学生の入学から卒業までを支えます。

授業
障害に配慮した

多様な方法で情報獲得

視覚教材・手話・口話・板書等々、授業では、様々な伝達方法を用いて、内容を伝える工夫がされています。情報バリアのない、分かる実感が得られる授業を提供します。

対話を重視した授業

専任教員は学生に伝わるコミュニケーション方法で直接的に教育します。授業は少人数で、すべての学生が教員と意思疎通しながら学べます。たくさん発言して積極的に学んで下さい。

できる力を養う演習

講義から得た知識を定着させるため、また、間違った理解を修正するためには、体験することが一番です。本学では演習・実習・実験を多数配置し、できる力につながる教育を行っています。

少人数で進める語学教育科目

語学教育科目として、1年では、英語と日本語(必修)、手話言語(選択必修、選択)があります。必修科目と選択必修科目では、きめ細かい指導ができる少人数教育のために、1年生全員を3~4集団に分けています。

分かるまで受けられるサポート

高等学校までの学習が十分でなく、本学の授業についていけない場合でも、一部科目についてはチューター(個人指導者)が放課後などを利用して、マンツーマン指導します。

非常勤講師の授業も分かる

音声のみの非常勤講師の授業では、パソコン要約筆記・リアルタイム字幕提示システムによって文字情報を得ることができます。



A. 少人数指導 B. きこえない教員による授業 C. 非常勤講師の授業には情報保障が導入

【教養教育系科目】

- 手話コミュニケーション入門・演習
- アメリカ手話言語1・2
- 英語A・B・C・D
- 日本語表現法A・B
- 健康スポーツA・B・C・D
- 修学基礎
- 情報保障概論
- 企業・社会への参加とコミュニケーション
- 異文化コミュニケーション
- 現代科学 等

Pick up

教員紹介

神村 幸蔵 先生

[英語A / 英語B / 英語C / 英語D]

これまで、中学校、高校、大学とさまざまな学校で英語を教えつつ、読解中に初めて見た英単語の意味推測の方法やその後の学習などについて研究してきました。

本学では、主に1年生、2年生対象の英語を担当します。私の授業では、単語や文法といった英語の基礎を固めつつ、グループワークやオンラインで利用可能なリソースを活用することで英語のインプットとアウトプットの両方の指導を行っています。また、授業では、手話、口話、板書、ディスプレイやプロジェクターなど視覚情報による情報保障を提供しつつ、適宜受講生の理解の確認をしながら授業を進めます。

現代は、インターネットを通して知りたい情報にアクセスしたり世界中の人々と気軽にコミュニケーションを取ったりすることができる素晴らしい時代です。そのような時代にみなさんと世界をつないでくれる架け橋となる英語を、一緒に学んでいきましょう！



Supports

充実した支援サービス 障害者高等教育研究支援センター 障害者支援研究部 [聴覚障害部門]

「授業での不便さを解消するため、ノートテイクのサポートを受けられる」等、最近では各大学においても障害のある学生の修学機会を保障する取組みがされています。

でも、将来の夢に向かって一歩ずつ成長しようとする学生にとって、活用したいサービスは、何も授業中の支援のみにとどまらないはず。「大学生生活にもっとコミュニケーションスキルをのばしたい!」「いつでもどこでも『分かる』環境がほしい」そんな学生のニーズに応えるため、本学では聴覚障害に対応したきめ細かな指導・サービスを提供しています。

また、ここで培われたノウハウや、本学の最先端の技術は聴覚障害学生支援のための全国ネットワークを通じて、大学・短期大学で学ぶ聴覚障害学生の学習環境改善のためにも役立てられています。

聴覚管理・補聴相談

聴覚を活用している学生にとって、残存聴力の低下や「きこえ」の変動は大きな不安をとまなうものです。本学では、これまで活用してきた聴力を維持し、よりよい「きこえ」の状態を保つことができるよう、一人ひとりの聴覚管理を行っています。また、聴覚障害学生が自ら「きこえ」の程度を把握し、補聴器及び補聴援助システムの自己管理ができるようになるために、きめ細かな補聴器活用支援を行っています。

た
め
に
学
生
の
聴
覚
障
害
す
べ
て
は



聴力測定

聴覚障害学生 支援ネットワーク拠点

本学では、他大学・短期大学で学ぶ聴覚障害学生の学習環境整備のため、積極的に支援を行っている大学・機関に呼びかけ、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)を構築しています。聴覚障害学生支援に関する大学教職員等からの問い合わせに対応している他、啓発教材の開発やシンポジウム・研修会の開催などを行っています。

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)
正会員大学・機関
★印は幹事大学・機関 (2025年4月現在)



オンラインを活用したシンポジウム・研修会の実施



遠隔情報保障システム

授業の一環で行われる研究所見学などでは、音声のみで説明がなされることもあります。こうした場面でも「分かる」環境を提供するため、手話による通訳の他、パソコンノートイクや音声認識と組み合わせで使用できるシステムを技術開発・利用しています。



遠隔情報保障システム T-TAC Caption2

目で分かる連絡・広報

通常、音声で伝えられる連絡・広報も、本学では視覚を活用した形で提示されています。学内には74箇所CATVモニタが設置されており、授業の予定変更やさまざまな連絡はここに表示されます。また、非常時には音や光による警報があります。いつ・どこにいても情報を逃すことはありません。



CATVモニタ

字幕入りビデオ教材

授業で学習した内容をもっと深く理解したい。そんな時には、図書館に配架された字幕入りビデオ教材を活用することができます。これらの字幕は本学で開発された字幕挿入システムによって作成されたもので、現在までに約1110本の教材が作成されています。



字幕挿入システム

発音・コミュニケーション指導

学生一人ひとりのニーズやコミュニケーション特性にあわせて、発音やスピーチ、コミュニケーションに関する指導を受けることができます。また、3~4年次の就職活動の際には、就職面接にあわせたコミュニケーション指導も提供されており、社会に出る前の準備も万端に整えられます。



発音・コミュニケーション指導

手話・コミュニケーション指導

手話が分からない学生は、入学時友達とのコミュニケーションに不安を抱きがちです。こうした不安を一刻も早く取り除くため、1年次の必修科目として手話の指導が行われています。また、手話学習やコミュニケーション上の悩みを感じている学生に対しては、マンツーマンでの相談対応を行っています。



手話コミュニケーション指導

きめ細かな就職支援

聴覚障害学生にとって、卒業後どんな職場に就けるかは大きな不安の一つです。本学では、学生および卒業生に対して就職模擬試験や面接・職場実習・職場適応に関する指導や支援を行っています。また、企業との連携を深めるための取り組みや、卒業生の職場適応に関する相談も行っています。



就職活動に関する個別相談

Sociality

国際交流

学生が、世界の障害者と交流し、世界に興味を持って視野を広げることを支援するために、本学は、海外の大学と交流協定を結び、現地の学生と共に授業を受けたり交流を深めたりするというプログラムを実施しています。

このプログラムは、特設授業科目「異文化コミュニケーション」で実施され、希望者の中から選ばれた学生が協定校に派遣されます。派遣のための費用支援は大学の基金等から行っています。

海外渡航が可能となった2024年度は、協定校を含む海外から筑波技術大学へ多くの訪問があり学生との交流を行いました。また、本学教員の引率により、韓京国立大学校（韓国）、天津理工大学・聾工学院（中国）、ギャロデット大学（米国）へ学生が派遣されました。

米国に行く学生は勿論、興味のある学生は誰でも参加できるアメリカ手話（ASL）の講座も実施しています。



海外研修報告会



学生交流の様子（ギャロデット大学の学長たちと）

地図内の○印は大学間交流協定に基づく、産業技術学部の学術交流協定校です。



長春大学からの短期受入学生との交流授業

研修の日程（参考）【2024年度米国東部・ロチェスター工科大学(RIT)、国立聾工科大学(NTID)】

- | | |
|---|--|
| 3/18 (月) 出国、羽田空港発→米国・シカゴを経由してロチェスター着 | 3/22 (金) Department of Access Service見学、個別行動 |
| 3/19 (火) 市内見学、学長やAsian Deaf Clubの学生を訪問 | Asian Deaf Clubでプレゼンテーション |
| 3/20 (水) ヘアになった現地学生（パティ）と各自個別行動 | 3/23 (土) 現地学生と近郊観光 |
| (以下、個別行動)、体験授業、Audiology Center見学 | 3/24 (日) TORA-CONほか、現地学生と観光 |
| 3/21 (木) NTID Co-op and Career Center (NCCC)見学、 | 3/25 (月) ロチェスター出発、シカゴから出国 |
| 特別講義出席、個別行動 | 3/26 (火) 帰国、羽田空港着 |



NTIDの施設見学の様子



韓京国立大学校におけるUDカフェでの車椅子体験



ASL講習会



ギャロデット大学とのオンライン協働学修 (COIL)



海外派遣研修(天津理工大学)での授業体験



Message

メッセージ

産業情報学科 支援技術学コース情報保障工学領域 3年(研修当時)

船山 滉介さん

NTIDへの海外派遣研修では、多彩な体験と出会いが心に刻まれました。Gerard Buckley学長からアジアのリーダーとして聴覚障害者同士の結束の必要性を熱く説かれ、パディとの初対面ではASLを駆使しながら苦労の中で互いの理解を深める一歩を踏み出しました。さらに、大学内をパディと探検し、大学グッズとスポーツメーカーのコラボ商品、先進的な入室管理システム、そして工学的刺激を感じる施設群に触れ、ブリアン先生の研究室での技術デモにも目を見張りました。Audiology Centerでの実用的な補聴器サポート体験のほかにも、NTIDでは様々な経験をすることができ、海外派遣研修全体として意義ある学びと気づきの日々となりました。パディとは1年後もSNS上で交流を続けています。未知の世界へと導いてくれる最高のパディとの絆は、私にとってかけがえのない宝物です。

異文化体験としては、現地の食事や日用品の買い物が印象に残っています。朝食にはバリバリのベーコンと絶妙なベークルに舌鼓を打ち、日本の食文化との違いに感激しました。ロチェスターにあるスーパーマーケットWegmansでは、店員さんとの簡単な英会話を楽しみながら、飲み物やお菓子などの日用品を購入し、現地ならではの新鮮な買い物体験に驚かされました。



Asian Deaf Clubにて

Sociality

社会貢献

大学の使命は教育、研究、そして社会貢献です。産業技術学部では、社会貢献活動の一環として、地域やろう学校と連携し、「ものづくり教室」「公開講座」「出前授業」「社会人学び直しプログラム」「ユニバーサルデザイン研修」などの活動を、年間を通して積極的に進めています。ここでは、多様な活動のうちの一部を紹介します。今後も、さまざまな社会ニーズに応じて、産業技術学部が持つ専門的な技術やノウハウといったリソースを活用しながら、社会の持続的発展に寄与できるよう活動に取り組んでいきます。

ものづくり教室



ろう学校の児童に作り方を教えている様子

本学部教員・学生のボランティア活動の一環として、ろう学校に出向いて小中学生を対象にしたものづくり教室を開いています。これまでに、絵画・造形教室として、「マーブリング遊び」「フォトフレーム作り」「スノードーム作り」を開講しました。本学部で学んだ知識を生かして、子供たちにもものづくりの楽しさを教えています。



出前授業

出前授業では全国の希望する学校に教員が出向き、児童・生徒に授業を行います。車型走行ロボット、プログラミング、レンドリング、絵文字や統計処理など希望に応じたさまざまな授業です。

※出前授業の詳細内容はこちら。

https://www.tsukuba-tech.ac.jp/social_contribution/lecture_on_demand.html

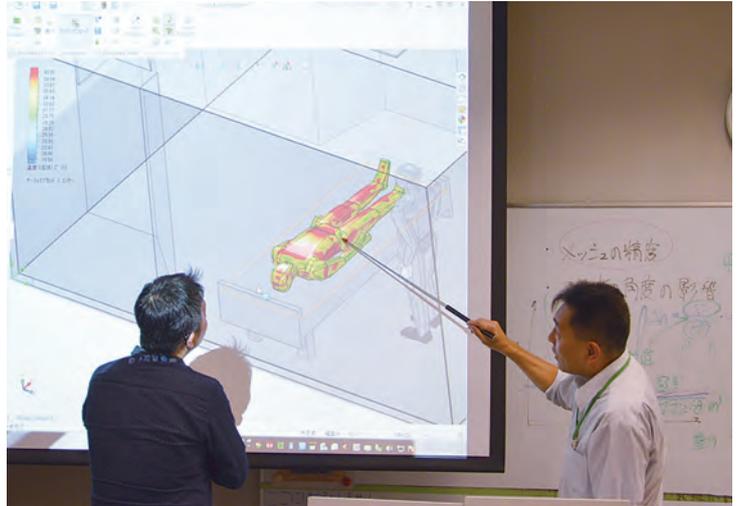


東京都立葛飾ろう学校における「ものづくり教室（スノードーム作り）」

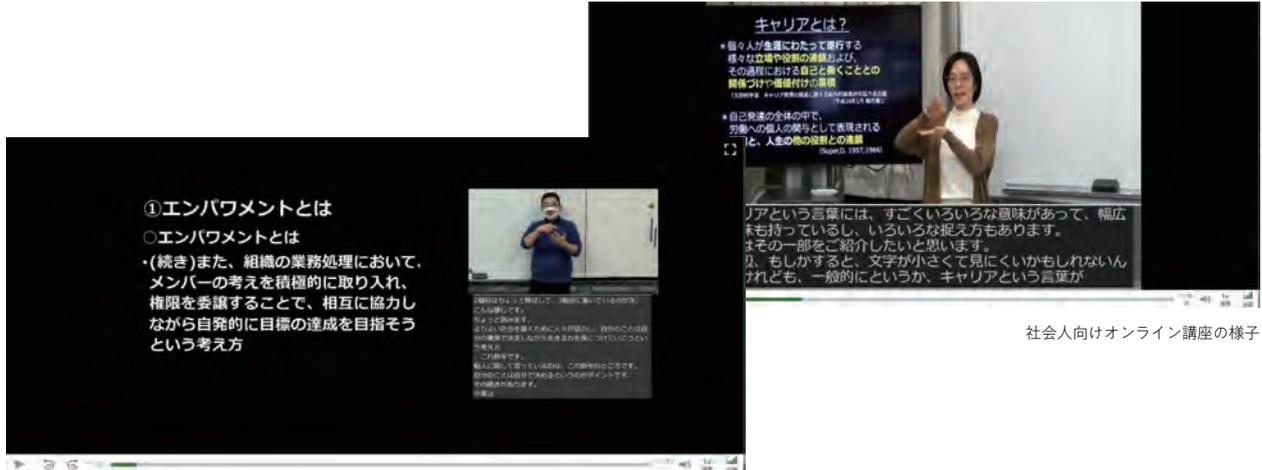
学び直し（リカレント教育）

本学では、聴覚に障害のある社会人の方を対象としたリカレント教育に力を入れています。「社会人学び直しプログラム」では、プログラム内容や実施期間等を受講希望者のニーズに合わせて柔軟に調整しながら、教員自ら行う手話やプロジェクタ、直接指導等による視覚的実践的情報保障のある環境で、企業や社会において必要な知識や技術を学ぶ機会を提供します。その他にも様々な講座を企画しており、録画配信等により多様な受講スタイルに対応できる形を目指しています。

※「社会人学び直しプログラム」の詳しい内容はこちら。
https://www.tsukuba-tech.ac.jp/social_contribution/relearning/index.html



社会人学び直しの授業



社会人向けオンライン講座の様子

ユニバーサルデザイン研修



市役所職員に対する説明

産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、授業科目の一環として、「つくば市職員ユニバーサルデザイン研修」の一部講座の計画立案・実施・評価を行っています。この研修は、つくば市から委託されている事業であり、つくば市職員を対象に毎年行われています。写真は市職員と本学の聴覚障害学生とのコミュニケーション体験の様子です。

Campus Life

課外活動



NTUTバレーボール部



軟式野球部



バスケットボールサークル



NTUT 陸上サークル



フットサルサークル



BADMINTOX (バドミントン部)



ハンドボールサークル



テニスサークル



ダンスサークル



ボルダリングサークル



ゲームサークル「ゲームランド」



UN-FROZEN



軽音部



手話のゆかり



フリエイティブ・オルタナ

部活動・サークル活動

課外活動は、豊かで幅広い人間性を育成するうえで、有意義な活動です。友人同士や仲間同士で3名集まると、新しいサークルを作ることができます。

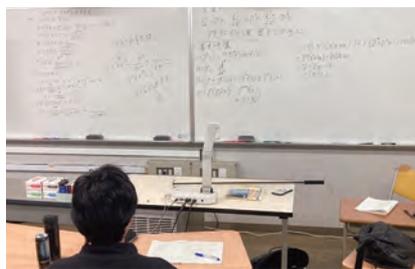
体育・課外活動施設

武道場・トレーニング室を備えた体育館、グラウンド、テニスコート等があります。これらの施設は、課外活動等で利用することができます。

Pick up

ピックアップ

「天龍祭」開催



Mathmacircle



IDFC



2024年10月20日、天久保キャンパスにおいて学園祭「天龍祭」が開催されました。

学生有志が企画し、飲食店や販売、展示に加え、手話落語や手話ソングパフォーマンス、春日キャンパスとの交流会などが企画されました。外部団体やスペシャルゲストの来学なども含め、多くの企画が学生を中心として企画されました。今年も普段の授業の時の様子とは異なる学生の底力を感じられる学園祭になりました。

活動日・活動時間 (2025年3月現在)

団体名	月	火	水	木	金	土	日
NTUTバレーボール部		18:00-21:00				9:00-12:00	
軟式野球部	14:30-17:00		14:30-17:00			9:00-12:00	
バスケットボールサークル			17:00-21:00				
NTUT陸上サークル		19:00-21:00		19:00-21:00			
フットサルサークル				18:00-21:00			
BADMINTOX (バドミントン部)						17:00-21:00	17:00-21:00
ハンドボールサークル					17:00-21:00		
テニスサークル						9:00-13:00	9:00-13:00
ダンスサークル	18:00-21:00		18:00-21:00	18:00-21:00		13:00-21:00	13:00-21:00
ボルダリングサークル					18:00-21:00		
ゲームサークル「ゲームランド」	不定期 18:00-21:00						
UN-FROZEN		18:00-19:30					
軽音部						13:00-17:00	13:00-17:00
手話のゆかり		12:00-13:30			12:00-13:30		
フリエイティブ・オルタナ			18:00-21:00				13:00-17:00
Mathmacircle				18:00-20:30	18:00-20:30		
IDFC						13:00-16:00	

Campus Life

施設・イベント



共用棟

共用棟館内には、学生一人ひとりのメールボックス・学生のための集会室・寄宿舎居住者用男子浴室（女子は寄宿舎内）・和室があります。夜間及び休日等の対応のために、共用棟に事務室を置き、本学委託の管理業務者が勤務をしています。夜間（24時以降翌朝7時まで）でも緊急時に対応できる体制を整えています。

その他の施設



実習工場

実習工場には主要な工作機械があり、機械工学専攻の学生は、ここで実際に機械加工の学習をします。卒業研究遂行のための実験装置を製作する学生もいます。



デザイン工房

デザイン工房には、各種工作機械があり、立体造形やプロダクトデザイン、工芸分野の演習で使用します。学生は作品制作を通して造形素材に知識と加工技術を習得します。



体育館

体育館内には、アリーナ・武道場・ホールドリングウォール・トレーニング室・更衣室・シャワー室があります。



大学会館（講堂など）

大学会館内には、講堂・就職資料室・手話学習室・個別コミュニケーション指導室・ランチ用スペース・自動販売機コーナーがあります。



保健管理センター

学生生活を心身ともに健康に過ごせるようお手伝いをすることが、保健管理センターの主な役割です。キャンパス内での怪我や急病の際には、ここで簡単な応急手当をします。程度が重い場合には、外部の病院を紹介し、一刻も早く受診できるようにしています。この他に、交友・勉強・寄宿舍・サークルなどの様々な悩みについてカウンセリングを行っています。一人で悩んでいても、良い解決方法は見つかりません。気軽に相談してください。

図書館

学修・研究に必要な専門資料や、教養のための図書・雑誌、字幕入りのビデオ等を取りそろえており、パソコンも設置しています。授業の予習・復習、レポートの作成や試験のための利用はもちろんのこと、本学のラーニング・commonsの一端を担う学習支援のためのラウンジや、セミナー室・研究個室もあり、友達同士やグループでの学習や討議、プレゼンテーションの練習などにも大いに活用してください。



アウトドアスポーツ



スノースポーツ



ランチトーク

Event Schedule

イベントスケジュール

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> | <p>入学式
新入生オリエンテーション等
第1学期授業開始</p> <p>学生定期健康診断
ランチトーク</p> <p>授業見学会(春季)
ランチトーク</p> <p>ランチトーク
第1学期授業終了</p> <p>第1学期期末試験
フィードバック期間
オープンキャンパス
夏季休業(8月中旬~)
アウトドアスポーツ
(集中授業)</p> <p>異文化コミュニケーション
A・F(韓国)(集中授業)
夏季休業(~9月下旬)</p> | <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> | <p>第2学期授業開始
授業見学会(秋季)</p> <p>ランチトーク</p> <p>ランチトーク
冬季休業(12月下旬~)</p> <p>冬季休業(~1月上旬)
ランチトーク
授業見学会(冬季)
第2学期授業終了</p> <p>第2学期期末試験
フィードバック期間
春季休業(2月中旬~)
スノースポーツ(新潟)(集中授業)</p> <p>異文化コミュニケーションB・G
(米国)(集中授業)
学位記授与式
春季休業(~4月上旬)</p> |
|---|--|--|--|

Campus Life

私の学生生活



Students Voice

学生の声

産業情報学科
建築学コース4年

遠藤 未羽さん

福島県立聴覚支援学校 出身



私は東北地方出身のため、1年生の時からユニット形式の寮で4年間過ごしています。寄宿舎には個室と補食室(キッチンや電子レンジ、テレビ等)があるユニット形式A~D棟とキッチンや電子レンジが含まれている個室形式のE棟があります。また、大浴場があり、そこで様々な学年が交流を深めている、まるで昔の銭湯のような場所です。この大浴場は私のお気に入りの場所の1つです。最初は、親元を離れて全く新しい環境で、自分で家事を行いながらの生活に不安と疲れを感じていました。しかし、寮に住んでいる学生と交流を深めていくことで、楽しく過ごせています。また、家族のありがみと生活の大変さを学ぶこともできました。

私の大学生活は、学業はもちろんアルバイトやサークルなど多くの活動に取り組んでいます。学業面では座学だけではなく、フィールドワークを重視した講義が多く、

知識と経験の結びつきを得られました。また、みんなで協力する課題も多く、みんなで議論を交わしながら進めることの大変さと達成感を味わえました。

私はアルバイトを1年生の時から行っており、学業との両立に悩んだ時期もありましたが、その都度アルバイト先と相談し、学業に支障を及ぼさないよう取り組んできました。また、バドミントンサークルに所属しており、夏には大会にも出場し、メダルを獲得できました。サークル活動により仲間との絆を深めたり、限界に挑み続けたりなど重質感とやりがいを得ることができました。

大学のまわりには安くておいしいご飯屋さんやカフェがたくさんあります。また、東京まで1時間でいけるため、休日は東京周辺でお買い物や観光を楽しむことができます。

My Style

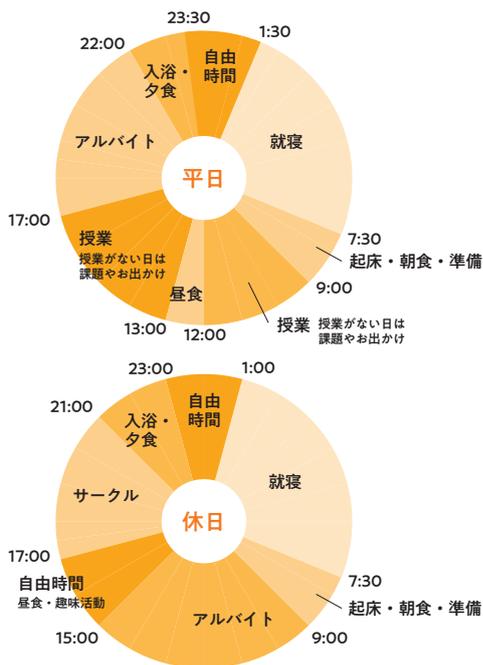
学生寄宿舍

居室内にミニキッチンを備えたタイプのE棟(女子専用棟)では、同フロアに12室の個室があります。各フロアには、共用の談話コーナー、洗面洗濯室、トイレ等が設置されています。部屋面積は約5畳半で、居室内に冷蔵庫、電子レンジがある他、本棚付学習机や椅子も設置されています。



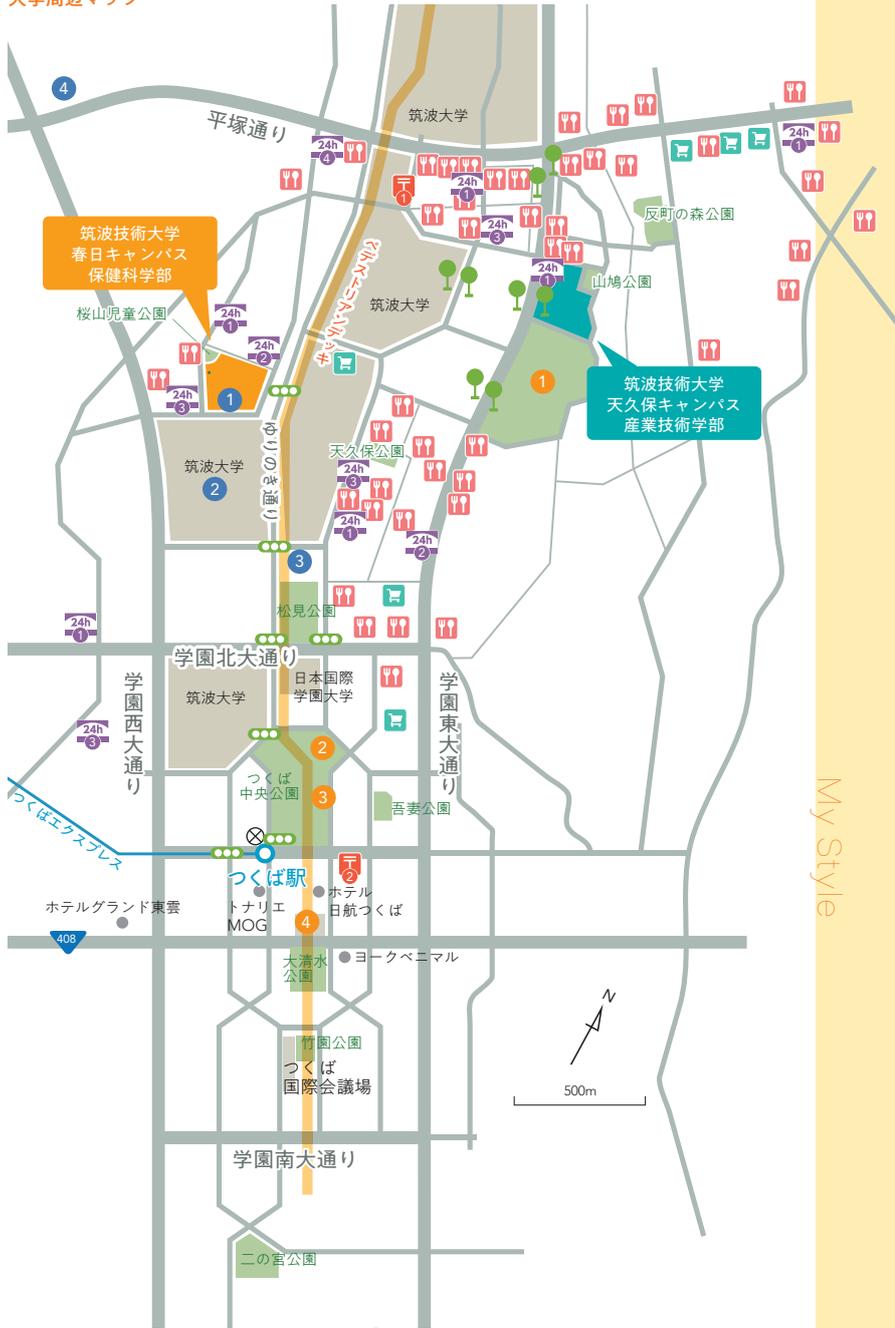
ユニットタイプのA~D棟では、5~6室の個室がまとまって共同生活の単位である「ユニット」を構成しています。各ユニットには、簡単な自炊ができるダイニングキッチン(補食室)があり、ロッカー、IH調理器、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機と乾燥機が設置されています。

【私の一日】



City Map

大学周辺マップ



周辺環境

- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 食堂・スーパー 🍴 食堂 (定食・ファミレス等) 🛒 スーパー・薬局 ■ コンビニ・ATM 🏪 セブンイレブン 🏪 ファミリーマート 🏪 ローソン 🏪 ミニストップ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 医療施設 ① 東西医学統合医療センター ② 筑波大学附属病院 ③ 筑波メディカルセンター ④ つくば医療ビレッジ ■ 郵便局 📮 筑波大学内郵便局 📮 筑波学園郵便局 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 学び ① 筑波実験植物園 ② つくばエキスポセンター ③ 図書館・美術館 ④ コンサートホール ■ 交通 🚶 ベストリアンデッキ 🚦 音響付信号機 🚏 大学近隣バス停 |
|---|--|---|

2024年3月現在

就職支援・進学

就職支援体制

就職ガイダンス・セミナー・講演会等（年間10回以上）を企画・実施し、学生の就職支援活動を行っています。

また、就職活動に関連するコミュニケーションの個別指導を年間を通じて実施しています。

さらに教育面からの就職支援として、キャリア教育科目の中で、キャリア発達を促すための授業を行っています。3年次のインターンシップ（職場実習）では、将来に備えた指導的な技術者としての素養と実践的な技術的感覚の体得を目指しています。

就職資料室（大学会館1F）には、各企業等からの求人票や企業案内の冊子等が備えてあり閲覧できるようになっています。

2024年度就職講座等の実施状況

4月	● 第1回合同企業説明会	11月	● 第3回講座「第1回SPI模擬試験」 ● 第4回講座「第1回エントリーシート添削及び模擬面接講習会」 ● 第3回合同企業説明会
5月	● 第1回インターンシップ説明会	1月	● 第5回講座「就職講演会」 ● 第6回講座「公務員講座」 ● 第7回講座「第1回公務員試験対策模試」
6月	● 第2回インターンシップ説明会	2月	● 第4回合同企業説明会 ● 第8回講座「第2回SPI模擬試験」 ● 第9回講座「第2回公務員試験対策模試」 ● 第10回講座「第2回エントリーシート添削」
7月	● 第1回講座「メイクセミナー」		
8月	● 第2回合同企業説明会		
10月	● 第2回講座「就職活動準備講座【基礎編・実践編】」		

就職セミナー（インターンシップ説明会）

学生の採用を検討している企業をお招きし、インターンシップや選考にかかる説明をいただくインターンシップ説明会を実施しています。毎年10社以上の企業に参加いただいております。各企業ごとに会社概要・インターンシップ・選考に関する説明を聞けるほか、人事担当者や実際に働いている卒業生に直接質問をすることもできます。



大学を卒業した聴覚障害者の就労に関する産学官連携シンポジウム

大学を卒業した聴覚障害者の就労上の課題とその対処について情報提供を行うことを目的としたシンポジウムを毎年実施しています。

2024年度は「障害者が活躍できるダイバーシティ推進の実例～共に働く社会に向けて～」をテーマとし、東京労働局や企業のダイバーシティ・人事担当者を講師としてお招きし開催しました。



就職活動準備講座[基礎編・実践編]

就職活動で求められる「自己PR」や「志望動機」への対策として、就職活動準備講座を実施しています。基礎編では、企業・仕事研究の方法や自己PR・志望動機の作成方法を学びます。実践編では実際に自己PRを作成し、学生同士で発表し合うことにより、採用側・学生側双方の視点で理解を深めることができます。



模擬面接講習会

模擬面接講演会では、選ばれた代表学生が登壇し、本番同様の模擬面接を行います。就職活動を目前に控えた時期に、志望動機の作成方法や企業研究のポイントについて再確認することができるため、代表学生だけでなく、客席で観覧している学生にとっても有意義な講演会です。



大学院進学について

天久保キャンパスには、学部教育との連続性を持たせたより高度な知識等の修得が可能な「産業技術学専攻」と、社会において障害者支援の中核的な役割を担う高度専門職業人および情報保障の研究者を養成する「情報アクセシビリティ専攻」の2つの専攻による修士課程があり、自身の障害に対する理解を深めつつ、学部で学んだ知識、技能を活かし、さらなる研究を推し進めることが可能です。

専攻	入学定員	コース	取得できる学位
産業技術学専攻	4名	産業情報学コース	修士(工学)
		総合デザイン学コース	修士(デザイン学)
保健科学専攻(※)	3名	鍼灸学コース	修士(鍼灸学)
		理学療法学コース	修士(理学療法学)
		情報システム学コース	修士(工学)
情報アクセシビリティ専攻	5名	障害者支援(聴覚障害)コース	修士(情報保障学)
		障害者支援(視覚障害)コース	修士(情報保障学)
		手話教育コース	修士(情報保障学)

※保健科学専攻は、視覚障害がある方が対象です。

◎学内会社説明会等

学内で申込のあった企業等の説明会を随時実施しています。企業の採用担当者から最新の情報を入手するとともに就職への大きな一歩となることが期待されます。また「企業向け大学説明会」や「就労に関するシンポジウム」を開催し、企業とのつながりを強めています。

◎学校推薦、大学紹介について

学校推薦とは、企業と大学との信頼関係に基づき一定の採用枠を設けるものです。企業により推薦の取り扱いは様々で、選考の過程が一部免除される場合や、ほぼ内定を出す場合があります。大学紹介とは、就職担当者が学生と面談を行い、本人の希望や適性にあった企業を紹介する方法です。本学は、多くの企業から推薦や紹介の依頼をいただいております。本学のシンポジウムに参加するなど聴覚障害者の採用に前向きな企業を学生に紹介しています。約半数の学生が学校推薦・大学紹介を受けて就職しています。

◎教職課程について

一般の企業等だけでなく、本学での学修を経て教員免許を取得し、教職の道を歩む卒業生も輩出しています。詳しくは、16～17ページをご覧ください。

キャリアサポーター

キャリア支援の充実を目的としてキャリアサポーターを設置し、就職活動中の学生や就職活動を控えた学生に対する面接指導、履歴書添削等の個別相談を行っています。また、キャリアサポーターを講師として、会話・メールのマナー講座や進路がまだ決まっていない低学年の学生に対するキャリアガイダンスも実施しています。

Graduates

卒業生の進路

	情報科学コース		建築学コース		先端機械工学コース		クリエイティブデザイン学コース		支援技術学コース		大学院技術科学研究科	
	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数
二〇二四年度	株式会社様菅原	1	広島県庁	1	キャンビズアテンダ株式会社	1	持田製薬株式会社	1	東京地下鉄株式会社	1	日鉄鉱業株式会社	1
	株式会社ワイルドチャレンジ	1	NTTファシリティーズ	1	株式会社デンソー	1	セントラル警備保障株式会社	1	ソフトバンク株式会社	1	筑波技術大学	1
	株式会社NTTデータMSE	2	生和コーポレーション株式会社	1	渋谷区図書館職員	1	岩谷産業株式会社	1	株式会社メッツ	1		
	トランスコスモス株式会社	1	カシワバラコーポレーション	1			トランスコスモス株式会社	1	株式会社湘南ジャーナル	1		
	株式会社LIXIL	1	バコーポレーション	1			トランスコスモス株式会社	1	株式会社JTBデータサービス	1		
	株式会社ドコモCS	1	筑波技術大学大学院(進学)	1			埼玉精神神経センター	1	筑波技術大学大学院(進学)	1		
	株式会社日比谷コンピュータシステム	1							東京学芸大学大学院(進学)	1		
	筑波技術大学大学院(進学)	2										
	東京学芸大学大学院(進学)	1										
二〇二三年度	高砂熱学工業株式会社	1	横浜市役所	1	YKK株式会社	1	JTBデータサービス	1	ブルームヒアリング株式会社	1	株式会社インテック	1
	株式会社Fusic	1	宇都宮市役所	1	ソフトバンク株式会社	1	博報堂DYアイ・オー	1	株式会社アドバンスメディア	1	株式会社ヤング・コミュニケーション	1
	株式会社LIXIL	1	戸田建設株式会社	1	キャン化成株式会社	1	株式会社毎日新聞社	1	トランスコスモス株式会社	1		
	株式会社JALサンライト	1	株式会社LIXIL	2			トランスコスモス株式会社	2	瀬戸信用金庫	1		
	ソフトバンク株式会社	1	株式会社タカラレーベン	1			株式会社JTB	3	株式会社NTTデータMSE	1		
	株式会社NTTデータMSE	1	株式会社NTTデータMSE	1			持田製薬株式会社	1	株式会社LIXIL	1		
	株式会社マイナビEdge	1	TBCグループ株式会社	1			日立ハイテク	1	宇都宮市役所	1		
	インテック株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1			TBCグループ株式会社	1				
	日本ビジネスシステムズ株式会社	1										
	住友金属鉱山株式会社	1										
筑波技術大学大学院(進学)	1											

	産業界情報科学専攻		産業界情報科学システム工学専攻		総合デザイン学科		大学院技術科学研究科産業界技術学専攻	
	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数
二〇二二年度	JTBグループ	1	株式会社LIXIL	1	株式会社NTTデータMSE	1	住友金属鉱山株式会社	1
	SOLIZE株式会社	1	株式会社バコーポレーション	2	株式会社LIXIL	2	群馬県特別支援学校教員	1
	株式会社C4C	1	戸田建設株式会社	1	株式会社TBS ACT	1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ関西	1
	株式会社LIXIL	1	メトロ設計株式会社	1	株式会社オカムラ	1	明晴学園	1
	株式会社インテック	2	保川建設株式会社	1	株式会社大和ハウス工業	1		
	トーヨーネット株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1	静岡県静岡中央高等学校	1		
	博報堂DYアイ・オー	1			商工組合中央金庫	1		
	愛信データ株式会社	1			ナンバードワンソリューションズ	1		
	株式会社NTTデータMSE	2			株式会社JTB	1		
	三菱電機エンジニアリング株式会社	1			株式会社ブルボン	1		
朝日新聞株式会社	1			株式会社日立ハイテク	1			
長岡京市役所	1			株式会社博報堂プロダクツ	1			
二〇二一年度	株式会社IHIエスキューブ	1	三菱電機エンジニアリング株式会社	1	株式会社オカムラ	1	株式会社インテック	1
	東日本旅客鉄道株式会社	2	株式会社本田技術研究所	4	株式会社NTTデータMSE	1	町田市役所	1
	株式会社NTTデータMSE	4	住友金属鉱山株式会社	1	株式会社代々木アニメーション学院	2		
	TOTO/バスクリエイト株式会社	1	株式会社フジタ	1	パソルチャレンジ株式会社	1		
	オムロン株式会社	1	日経エンジニアリング株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1		
	株式会社JTB	1						
	株式会社ドコモCS	1						
	トランスコスモス株式会社	1						
	株式会社インテック	1						
	株式会社リクルートオフィスサポート	1						
高知県庁	1							
日本電算企画株式会社	1							
二〇二〇年度	東芝インフラシステムズ株式会社	1	株式会社本田技術研究所 和光研究所	1	大和ハウス工業株式会社	1		
	日本電算企画株式会社	1	京三電機株式会社	1	プラス株式会社	1		
	栃木県庁	1	三菱電機エンジニアリング株式会社 神戸事業所	1	持田製薬株式会社	1		
	中電ウイング株式会社	1	株式会社LIXIL	1	KDDIエボルバ株式会社	1		
	茨城県学校事務	1	コーナン建設株式会社	1	サイボウズ株式会社	1		
	株式会社インテック	2	三機工業株式会社	1	株式会社オカムラ	1		
	持田製薬株式会社	1	YKKAP株式会社	1	楽天ソシオビジネス株式会社	1		
	船橋市役所	1	株式会社オカムラ	2				
	株式会社NTTデータMSE	1	三和シャッター工業株式会社 関西支社	1				
	パナソニック吉備株式会社	1						
トークシステム株式会社	1							
二〇一九年度	ジェイアール東海情報システム株式会社	1	株式会社朝日新聞社	1	株式会社オカムラ	1		
	株式会社システムデザイン	1	オムロンヘルスケア株式会社	1	元気寿司株式会社	1		
	シャープ株式会社	1	株式会社ケーヒン	1	東京セキスイハイム株式会社	1		
	株式会社デンソー	1	株式会社構造計画研究所	1	株式会社ドコモCS	1		
	トランスコスモス株式会社	2	三機工業株式会社	1	トランスコスモス株式会社	3		
	株式会社日立産業制御ソリューションズ	1	戸田建設株式会社	1	不二ライトメタル株式会社	1		
	株式会社日立ソリューションズ東日本	1	日経パナシステム株式会社	1	プラス株式会社	1		
	福岡市役所	1	株式会社日本経済新聞社	1	持田製薬株式会社	1		
	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリー	1	東日本旅客鉄道株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1		
	マレリ株式会社	1	三菱ケミカル株式会社	1				
箕面市役所	1	株式会社LIXIL	1					
理想科学工業株式会社	1	上越教育大学大学院(進学)	1					
愛信データ株式会社	2							
二〇一八年度	NECフィールドディング株式会社	1	アイシン・エイ・ダブルユ株式会社	1	京セラコミュニケーションシステム株式会社	1	日本工営株式会社	1
	株式会社NTTドコモ	1	SMBC日興証券株式会社	1	株式会社高知銀行	1	株式会社フジクラ 佐倉事業所	1
	エムオーテック株式会社	1	花王株式会社	1	株式会社JTB	1	前田建設工業株式会社	1
	オムロン株式会社	1	京三電機株式会社	1	株式会社JTBビジネスストラテジソリューションズ	1	株式会社ケーヒン 栃木開発センター	1
	花王株式会社	1	ダイキン工業株式会社	1	株式会社セブン・イレブン・ジャパン	1	上智大学大学院(進学)	1
	鹿児島県庁	1	株式会社日立ハイテクノロジーズ 三菱電機	1	大和ハウス工業株式会社	1	筑波大学大学院(進学)	1
	株式会社久原本家グループ本社	1	エンジニアリング株式会社	1	トランスコスモス株式会社	1		
	社JALサンライト	1	株式会社LIXIL	2	プラス株式会社	2		
	セコムビジネスプラス株式会社	1			株式会社コナイテッドアローズ	1		
	セントラルスポーツ株式会社	1			株式会社レナウン	1		
トランスコスモス株式会社	2							
日本通運株式会社	1							
株式会社日立ソリューションズ東日本	1							
上越教育大学大学院(進学)	4							
筑波技術大学大学院(進学)	2							

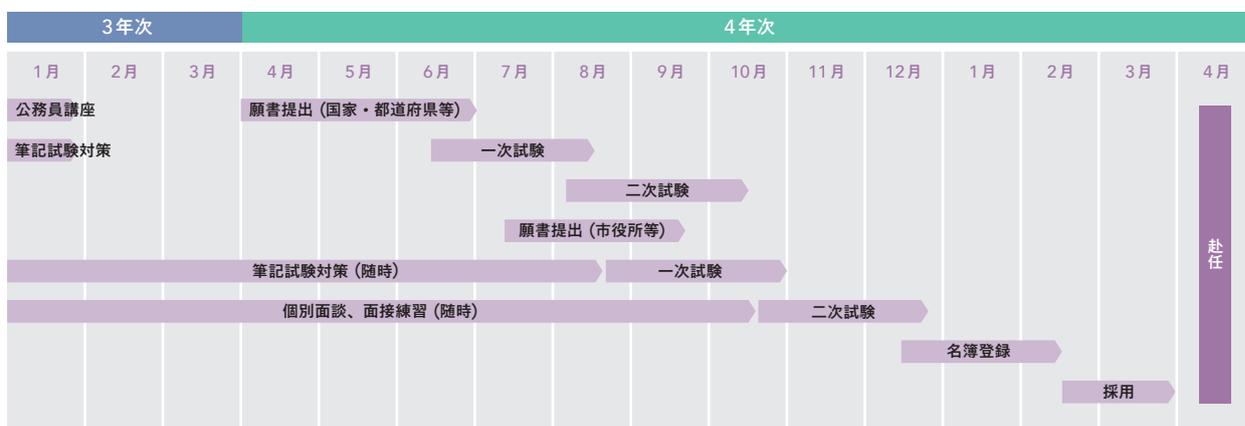
(※社名等は当時の表記)

就職活動について

企業の例



公務員の例



Message

メッセージ

岡山県 保健福祉部障害福祉課

真島 大輔さん

産業情報学科システム工学専攻

[2014年度卒]



経験を積んで力を身に付けよう

私は現在、岡山県庁内にある保健福祉部障害福祉課で勤務しており、主に心身障害者扶養共済制度や手話通訳・要約筆記者の養成と派遣、聴覚障害者の相談業務を行う聴覚障害者センターに関する委託業務を担当しています。自身の障害に関わる業務に携わることで、これまで知らなかった聴覚障害者への支援や情報提供について、業務を通じて知識を深めています。

公務員は安定していて定時に帰れるというイメージが大きいと思いますが、必ずしもそうではありません。確かに入庁後に配属された部署では、仕事が少なく、定時に帰ることができていたのですが、現在勤務している障害福祉課は、多忙で業務量が多く残業もしばしばあります。しかし、その反面やりがいがあると思って楽しく仕事に励んでいます。責任の重い仕事を任されることもありますが、ミス無く事務処理をしっかりとこなせるように日々精進しています。

大学では建築工学を専攻しており、現在の仕事と直接関わりはありません。しかし、大学の講義やレポート作成のために身に付いたPCスキルと考察力は、職場での資料作成等に活きており、上司や先輩のアドバイスを受けながら現在も事務作業に必要な知識を吸収しています。また、大学の講義やアルバイト等といった学生生活で身に付いたコミュニケーションスキルについても、職場において、上司や先輩、同期との会話は口話で行い、電話応対は筆談してもらうなど、大学で学んだことや経験は、今の私の力となっています。

大学で身に付けたスキルは、卒業後、必ず仕事や日常生活で活かされます。日々の学生生活で様々な経験を積んで社会生活に必要なスキルを身に付け、自身の力にしてほしいと思います。

卒業生インタビュー 私は現在…



株式会社ラッズ・
ダイナモデザイン
(フリーランス)

岩田 直樹さん

Naoki Iwata

総合デザイン学科
視覚伝達デザイン学領域
[2017年度卒業]

デザイン、チャンス、行動

私は現在、ロゴやチラシなどの広告制作からゲストハウス運営、謎解きゲーム運営まで一言では表せないほど様々な事業をやっている、茨城県内にある株式会社ラッズでグラフィックデザイナーとして勤務しています。そして、会社での勤務だけではなくフリーランスのグラフィックデザイナーとして、「ダイナモデザイン」という屋号で個人での活動もしております。つまり、パラレルワーク(複業)という働き方で生活しております。

どちらもグラフィックデザインの仕事であり、内容に大きな違いはありませんが、デザインするときは、まずユーザーを知り、そしてその人の気持ちやデザインされたものを公開されたときを想像し、どうすれば今より良くなるかを考えながら、わかりやすさと印象の残しやすさを両立したデザインを目指しています。もちろん、デザインの仕事にはコミュニケーションが欠かせません。耳が聞こえない分、自分の言いたいことをどれだけわかりやすく伝えられるか、相手の言いたい事の本質を見極められるかどうか毎回考えさせられます。

また、学生から実行委員として参加し続けている「つくばクラフトピアフェスト」という毎年夏頃につくば駅前で開催されているクラフトビールの祭りでもデザイナーとして関わっております。そこで学生の時から現場に出てデザインの仕事の経験を積みました。社会人になってもすぐに即戦力になれたため、僕の中では大きな糧となりました。

もし、デザイナーとして活躍したいのであれば、学生のうちにデザインの経験を積んだり、人脈を広げたり、刺激となる何かに挑戦することが大事になると思います。周りには意外とチャンスがたくさん転がっているので、ぜひ行動を起こしてチャンスを掴み取って自分の人生を楽しんでください！

OG/OB Interview

Just go with the flow and everything will be OK.

みなさん、こんにちは。私は現在、本田技術研究所に勤めています。その中で様々な開発における試作機の製作を担う部署に配属され、主に板金加工の担当として元気に業務を推進しています。板金加工とは、その名の通り板状の金属を図面通りに切断して、圧力を加えて折り曲げたり、溶接を行う加工技術です。大学では図面設計をはじめ、溶接や機械加工、評価試験について学びましたが、その経験が現在の業務に役に立っていると思っています。自部署では障がいに対する理解があり、ボトムアップのアプローチで障がい者が働きやすい環境を整えることができる職場であると思います。今後は、聴覚障がいをハンディキャップとせず、失敗を恐れず、積極的に業務に取り組みたいと思います。

学生は勉強が本業ですが、スポーツやアルバイト、ボランティア活動など、人との関わりがある場に積極的に参加してほしいと思います。学生生活は長いようで短いものですので、より充実した時間を過ごしてほしいと願っています。

技大に入学する前は、大学で物理を専攻したいと漠然と想着っていました。高校3年生の10月に聴覚障がい者のための大学を見つけ、どのような教育が行われているのか、聞こえない世界に興味を持ち、手話や情報保障に関する知識が全くない状態で入学を決意しました。ふと振り返ると、技大で過ごした4年間は私にとって、聞こえない世界を理解する貴重な時間だったように思います。

技大進学に迷いや不安を抱えている方は、その迷いを持ったまま進学してみてもはどうでしょう。技大はたくさんの選択肢と思いがけない出会いが待っている場所です。どこかであなたなりの道が見つかる、面白い環境かもしれません。

[Just go with the flow and everything will be OK.(ただ流れに身を任せていれば大丈夫ですよ)]



株式会社本田技術研究所
(和光研究所)
統括機能センター試作室
埼玉試作BL

土橋 大幹さん

Daiki Tsuchihashi

産業情報学科
システム工学専攻
[2021年度卒業]

好奇心を武器に、未知の領域へ踏み出そう

私は現在、株式会社JTBのWeb販売事業部ホームページ戦略部に所属しています。その中のUI/UX課でフロントエンドエンジニアとして勤務しています。当課は、公式サイトUI (User Interface) やUX (User Experience) を改善するだけでなく、表現や体験の実現に向けた提案・改善を担う部署です。そのため課内で完結する業務だけでなく、他部門と連携し、お客様に最適な体験を提供しています。

私の担当業務は、フロントエンド開発やマークアップ開発、ABテストの要件定義と実行、データ分析、プロジェクトでのディレクション兼務など多岐にわたり、サイトのアジャイルな改善を進めています。大学で専攻していた情報科学の基盤は、現在の業務に直結するだけでなく、実務経験や新しい知識と結びつき、成果を生み出す力になっています。また、自分が手がけたものがサイトに反映され、それをお客様に使っていただけることに大きなやりがいを感じています。

JTBにはろう社員が多数いますが、エンジニアとして働いているのは私だけです。そのため、コミュニケーションで難しい場面もありますが、チャットツールやビジュアルコミュニケーションを活用し、必要な情報を的確に共有する工夫を重ねています。この経験を通じて、環境に左右されず成果を出せる力を身につけてきたと実感しています。また、難しそうな案件でも「面白そうだからやってみよう」という好奇心を大切に、失敗を恐れずチャレンジを続けてきた結果、上司や同僚から信頼を得られ、難しい仕事も任されるようになりました。

大学での経験は、社会人になった後も自分を支える大きな力になります。好奇心を持ち、未知のことに挑戦することで、新たな道が開けるはず。自分の可能性を信じ、未来への一歩を踏み出してください。



株式会社JTB
Web販売事業部 ホームページ
戦略部 UI/UX課

大石 周さん

Meguru Oishi

産業情報学科
情報科学専攻

[2021年度卒業]

OG/OB Interview



戸田建設株式会社 東京支店
建築工事生産設計部
生産設計4課

西野 弘二さん

Koji Nishino
(一級建築士)

産業情報学科
システム工学専攻 建築工学領域
[2019年度卒業]

思い描いた人生を歩むために、試行錯誤し続ける

私は現在、戸田建設株式会社の生産設計部で働いています。当社は総合建設企業として、オフィスビルや商業施設、病院、学校といった大規模施設の建設工事から、都市開発、さらに再生可能エネルギーの開発など様々な事業に取り組んでいます。

生産設計部では「設計図」を基に実際の施工に必要な寸法などの情報が描かれた「施工図」と外装材や建具等の工場で作成する製品を記した「製作図」をまとめる仕事をします。私は都心の再開発事業に携わり、建物の骨格となる鉄骨製作図の管理や鉄骨製作・建方上の課題解決を担当しています。建物の骨組みだけを考えるのではなく、それらに付随する防水・断熱・耐火・構造上の荷重等を考慮する必要があり、より広範な知識が求められます。図面をまとめていく中で、施工できない箇所があったり、設計変更で大幅な変更が生じたり、イレギュラーが発生した時は協業者と検討・協議を行い、解決に導きます。建設工事の中で重要な工程となるため、設計・現場・鉄骨製作会社とタイムリーかつ密なコミュニケーションを図ることを心がけています。

齟齬を起こさないコミュニケーションを図るために、当社のウェルネス&ダイバーシティ推進部と連携し、音声認識システムを導入したり、協業者に協力をお願いして、図面に直接記入してもらったりして認識をすり合わせています。そのような取り組みを進め、聞こえる人たちが議事録ツールとして有効に活用してもらえるように推進しています。

様々な仕事に取り組む中で、自分の能力を超えた難しい仕事に携わることがあります。力不足を感じるものの連続ですが、自分の仕事に責任を持って向き合い、「より良くするためには？」と疑問を持ち、建築専門書を読んだり、先輩社員に質問したりして学びを深めています。そして、学んだことを基に提案や協議を行い、それを繰り返していくことで自身の成長に繋がっています。このように学びを深めたり、実践したりする姿勢は在学中に建築を志し、自分の興味がある分野を講義や研究を通して試行錯誤しながら、コツコツと掘り下げていった経験が土台になっています。今思えば、興味を深掘りしていく中で沢山の人の出会い、彼らの考え方やその背景に触れ、常に自分をアップデートできる幸せな学生生活でした。

最後に持論ですが、大学生活に関わらず、自分の興味ある分野や目標を意識し始めた瞬間から世界は広がると考えています。その世界へ一歩踏み出した結果や経験がどうであれ、その受け止め次第で、自分が見える世界や思い描く未来が変わってくるのではないのでしょうか？ 皆さんが充実した学生生活を過ごし、思い描いた未来へ歩めるよう応援しています。

入学に関するお知らせ

2025年度に実施する産業技術学部入学選抜の詳細は、9月に公表予定の「令和8年度学生募集要項」をご覧ください。

入学資格

産業技術学部へ入学できる者は、大学入学資格を有する者（特別支援学校高等部や高等学校を卒業した者等）で、両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上※のもの又は補聴器等の使用によっても通常の話を解することが不可能若しくは著しく困難な程度のものとなっています。

※裸耳（補聴器を外した状態又は他は人工内耳のスイッチをオフにした状態）での聴力レベル

入学選抜の方法

産業技術学部の入学選抜は、次の5つの方法で行います。

1. 学校推薦型選抜

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	16名	7名
対象	高校卒業見込みの者、専攻科修了見込みの者（注1） ※学校長の推薦が必要	
試験日	2025年11月29日	
試験内容	書類審査／小論文／面接	
	適性検査 (文章・図形・数式などの理解力と数学的及び論理的な思考力) ※ 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A相当	実技検査 (技術力、プレゼンカ、創作意欲、独創性等)

2. 社会人選抜

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	若干名	若干名
対象	入学時20歳以上の者	
試験日	2025年11月29日	
試験内容	書類審査／小論文／面接	
	適性検査 (文章・図形・数式などの理解力と数学的及び論理的な思考力) ※ 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A相当	実技検査 (技術力、プレゼンカ、創作意欲、独創性等)

3. 総合型選抜

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	若干名	若干名
対象	高校卒業見込みの者、高卒後2年以内の者	
試験日	2025年12月20日、2026年1月24日	
試験内容	書類審査／小論文／プレゼンテーション／面接	

4. 編入学（2年次・3年次）

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	若干名	若干名
対象	【2年次】 大学を卒業した者又は大学に1年以上在学し31単位以上修得し退学した者および退学見込の者又は短大・特別支援学校専攻科等を卒業（修了）した者および卒業（修了）見込みの者 【3年次】 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し62単位以上修得し退学した者および退学見込の者又は短大・特別支援学校専攻科等を卒業（修了）した者および卒業（修了）見込みの者	
試験日	2025年9月6日、2026年1月24日	
試験内容	書類審査／小論文	
	口頭試問	プレゼンテーション

5. 一般選抜（前期日程）

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	16名（注2）	6名
対象	高校卒業見込みの者、専攻科修了見込みの者、既卒者等	
試験日	2026年2月25日	
試験内容	書類審査／面接／大学入学共通テスト指定教科から2科目	
	選択科目 ・ 数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A） ・ 総合問題	総合問題

（注1）学校推薦型選抜における「高等学校」及び「専攻科」は次のとおりです。
 高等学校：特別支援学校の高等部本科又は高等学校（中等教育学校を含む。）
 専攻科：特別支援学校又は高等学校の専攻科

（注2）産業情報学科における一般選抜（前期日程）は、複数の学科、複数の科目を同時に受験することができます。

大学入学共通テスト

産業技術学部では、大学入学共通テストのうち以下の教科・科目を利用します。
 必要とする教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い科目を利用します。

産業情報学科【計2教科2科目】

教科	
国語	「国語(近代以降の文章)」【必須】
数学	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅱ・旧数学B」「旧数学Ⅱ」
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」「旧情報」

から
1科目

総合デザイン学科【計2教科2科目】

教科	
国語	「国語(近代以降の文章)」【必須】
地理歴史	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」「旧世界史A」「旧世界史B」 「旧日本史A」「旧日本史B」「旧地理A」「旧地理B」
公民	「公共、倫理」「公共、政治・経済」「旧現代社会」「旧倫理」 「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」「地理総合/歴史総合/公共」
数学	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅱ・旧数学B」「旧数学Ⅱ」
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」「旧情報」

から
1科目

学費・奨学金などのご案内 ※2025年度入学者

入学定員・取得可能な学位

	入学定員	学位
産業情報学科	32人	学士 (工学)
総合デザイン学科	13人	学士 (デザイン学)

入学料・授業料

入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

●入学料

282,000円(入学手続き時に納入)

●授業料

前期分 267,900円(5月に納入)
後期分 267,900円(11月に納入)
(年額 535,800円)

入学料・授業料免除制度

本学は、2020年度開始の国の「高等教育の修学支援制度」対象校に認定されています。(制度の詳細は右QRコードから)

これとは別に、本学では下表の入学料・授業料免除制度を実施しています。なお、経済的困難のある方は、本学の免除制度と国の「高等教育の修学支援制度」を両方併せて受給申請いただけます。

また、家計急変で急に支援が必要になった際も、本学は機動的にお支えする仕組みがあります。

■ 文部科学省 修学支援制度特設ページ
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



免除の種類	免除メニュー	選考基準	免除額	備考
入学料免除		○所得基準・資産基準を満たすこと ○家計急変のために緊急に支援する必要があると認められること	全額または半額	
	経済的理由	○所得基準・資産基準・学業成績基準を満たすこと	全額または半額または一部	
授業料免除	災害等による家計急変	○家計急変のために緊急に支援する必要があると認められること ○資産基準を満たすこと	全額または半額または一部	家計急変があった場合、申請期限等に関わらず、随時申請可能
	社会人	○本学の社会人入学者選抜で入学した者等	半額または一部	
	私費外国人留学生	○「留学」の在留資格を有する者 ○学業成績基準を満たすこと	全額または半額または一部	
	学業成績が優秀または表彰された場合	○直前学期で優秀な成績を収めた場合 または ○表彰された場合	【成績優秀】半額または一部 【表彰】全額	

※上記の免除制度以外にも、入学料・授業料の徴収猶予制度や、授業料の月割分納制度もあります。

※上記の制度は学部生・大学院生・私費外国人留学生いずれも共通ですが、大学院生・私費外国人留学生は国の「高等教育の修学支援制度」の対象外ですので、ご注意ください。

※予算や申請状況によっては、申請し基準に該当しても、免除等にならない可能性があります。ご了承ください。

奨学金

経済的な理由等で修学が困難な学生に対しては、各種の奨学金制度があります。

日本学生支援機構奨学金

優秀な学生で、経済的理由により修学が困難な場合には、日本学生支援機構の選考により奨学金が給付または貸与されます。奨学金は、給付奨学金、第一種貸与奨学金(無利子)、第二種貸与奨学金(有利子)があります。給付奨学金は、国の「高等教育の修学支援制度」による奨学金です。各奨学金の詳細は下のQRコードからご確認ください。

■ 日本学生支援機構 (JASSO)
給付奨学金のページ
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>



■ 日本学生支援機構 (JASSO)
貸与奨学金のページ
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyu/index.html>



その他の奨学金

地方公共団体、各種法人等が募集する奨学制度があり、内容は、団体等によって異なります。

その他

学生教育研究災害傷害保険等

授業中や課外活動中の事故に対して補償する「学生教育研究災害傷害保険」と授業中や課外活動中のみならず、インターンシップ(企業実習等)等で起こった学生の賠償事故(他人にけがをさせたり、財物を破損させたりした事故)について補償する「学研災付帯賠償責任保険」があります。本学ではこの保険制度に賛同し、基本部分については大学が負担し、特約及び付帯賠償については、入学時に全員が加入するよう勧めています。

寄宿舎関係経費 2025年度

	A~D棟	E棟
寄宿料	5,000円/月	6,500円/月
共益費	12,000円/月	11,000円/月
居室電気料	実費(約千円程度/月)	

OPEN CAMPUS 2025

筑波技術大学産業技術学部
オープンキャンパス

オープンキャンパス

10:00-16:00

筑波技術大学天久保キャンパス

6.7 [土]

オンライン説明会

with 編入学セッション

第1回

5.11 [日]

13:00-16:00
オンライン

第2回

8.24 [日]

授業見学会

【施設見学・入試対策・学生交流会】

春季

6.6 [金]

13:00-15:30
筑波技術大学天久保キャンパス

秋季

10.10 [金]

秋のキャンパスライフオープンデー～学園祭コラボ～

10.12 [日] or 13 [祝・月]

10:00-16:00

筑波技術大学天久保キャンパス ※学園祭を実施しない場合は説明会単体での実施

出張オープンキャンパス 13:30-16:00

6.28 [土]

北海道

大阪

福岡

9.28 [日]

大阪

他

※掲載内容は2025年3月31日時点の情報です。予定が変更した場合は、本学ホームページ、Facebook、X(旧Twitter) 等でお知らせします。

オンライン相談 [随時]

聴覚に障害のある生徒、保護者及び関係職員等を対象にオープンキャンパス等を上記のとおり開催します。出張オープンキャンパス等では、希望学科の教育内容の説明、個人別の教育相談・受験相談などを行います。その他、希望に応じて随時、受験相談・施設見学等を行っていますので、お申し出ください。



各種説明会イベントでは、高校生だけでなく、小学生や中学生のみなさまのご参加も歓迎しております。

ACCESS MAP

筑波技術大学
春日キャンパス
【保健科学部】

つくばエクスプレス

至秋葉原

つくば中央 IC

圏央道

つくばエクスプレス [快速45分]

秋葉原駅

常磐高速バス [約65分]

東京駅 (八重洲南口)

JR 常磐線

ひたち野うしく駅

荒川沖駅

土浦駅

筑波技術大学 天久保キャンパス 【産業技術学部】

配置図



1. 管理棟
2. 校舎棟
3. 特殊実験棟
4. メディアセンター
(障害者高等教育研究支援センター・図書館)
5. 大会会館 (講堂)
6. 学生寄宿舍共用棟
7. 学生寄宿舍居住棟
8. 体育館
9. テニスコート
10. 多目的グラウンド
11. 学生支援棟 (紫峰会館)
12. 総合研究棟



筑波大学

セブンイレブン
ローソン
筑波技術大学
産業技術学部

筑波大学
体育・芸術
専門学群

セブンイレブン
ファミリー
マート

筑波大学
附属病院

筑波メディカル
センター病院

松見公園

●日本国際学園大学

筑波大学
情報学群
知識情報・
図書館学類

●エキスポセンター
●中央公園

ホテル日航つくば
つくばセンタービル

バスターミナル
●大清水公園

物質・材料研究機構

JAXA
筑波宇宙センター

産業技術総合研究所

国立環境
研究所

つくば駅

つくばセンター

[約25分]

[約30分]

[約30分]

- 「テクノパーク大穂」バス乗車 [約 15 分]、
「筑波技術大学産業技術学部」下車徒歩 1 分
- 「筑波大学循環 (左回り)」バス乗車 [約 15 分]、
「合宿所」下車徒歩 5 分

- つくバス「北部シャトル3番乗り場【筑波山口方面】」
バス乗車 [約 5 分]、「H03 天久保 (筑波実験植物園)」
下車徒歩 1 分
- タクシーで約 7 分

筑波技術大学 (天久保キャンパス)

つくば JCT

桜土浦 IC

大角豆交差点

土浦駅

荒川沖駅



至水戸
至上野

国立大学法人
筑波技術大学 産業技術学部 学部案内

筑波技術大学
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15
<https://www.tsukuba-tech.ac.jp>

[入学試験関係] 聴覚障害系支援課 教務係
TEL 029-858-9328
FAX 029-858-9335

[学生生活・就職関係] 聴覚障害系支援課 学生係
TEL 029-858-9326
FAX 029-858-9335

Publishing ;
Faculty of Industrial Technology
Tsukuba University of Technology

4-3-15 Amakubo, Tsukuba-City, Ibaraki 305-8520, Japan

SNS も更新中！
『筑波技術大学』で検索



Instagram



Facebook



X



ホームページ



国立大学法人

筑波技術大学

筑波技術大学のコミュニケーションマークは、大学の成長と発展、ポジティブな拡散を感じられるデザインとなっています。それぞれのオブジェクトは、聴覚障害者にとっての視覚、視覚障害者にとっての聴覚を表現し、二つのオブジェクトの組み合わせで、障害に縛られないコミュニケーションを、また、人とその周囲の社会や環境を表現しました。

